



STEPWGN



【ステップ ワゴンの想い】

変えちゃいけない。変えなきゃいけない。

1996年、Hondaが提案した
「クリエイティブ・ムーバー(生活創造車)」。
ステップ ワゴンは、その一台として家族の毎日を
楽しく広げていくクルマとして誕生しました。
取り回しのよい5ナンバーサイズに、
多人数が快適に移動できる広々とした空間。
そして、家族みんなが使いやすい機能を備え、
発売と同時に注目を集め、
ユーティリティ・ミニバンという新しいカテゴリーを確立。
子育て世代を中心にたくさんの家族に支持されました。

*

以来、ステップ ワゴンは、モデルチェンジを重ねても
「家族みんなの毎日を楽しくし、幸せをもたらすクルマであること」を
普遍の、変わらない想いとして貫いてきました。
いっぽうで、時代とともに変化する家族の在り方を見つめ、
その時々で、Honda独自の先進技術を取り入れながら、
ステップ ワゴンを進化させてきました。
5代目ステップ ワゴンは今、
変わらない想いを継承しながら、新たなステージへ。

【開発にあたって】

ステップ ワゴンに、 Hondaらしいホスピタリティを。

ステップ ワゴンは、家族のクルマとして多くの家族に愛されてきました。
5代目を開発するにあたって、まず考えたのが、
これからも家族に愛される存在であり続けるには、
どのようなクルマであるべきか、ということでした。

そこで今の家族に目を向けてみると、たとえ同居をしていなくても、
3世代で行動する機会が多いことがわかりました。
そうすると、今までは荷室スペースとして使われることが
日常的だった3列目の重要性が高まってきます。

これらの現実をふまえ、5代目ステップ ワゴンのあるべき姿として描いたのが、
高い機能性とHondaらしいホスピタリティを備えたクルマでした。

Hondaらしいホスピタリティ。

それは、使う人にラクであったり、やさしいだけでなく、
驚きやワクワクをもたらし、毎日の生活に楽しさを広げていくものです。

それをカタチにするために、パッケージやデザイン、走行性能など、
あらゆる面で、Hondaらしいホスピタリティを徹底追求し、
自由な発想や創意工夫、そして技術を注ぎ込み、
Newステップ ワゴンを完成させました。

生活に便利な道具から、様々なシーンで楽しみを広げる
暮らしのパートナーとして今、
自信をもって、Newステップ ワゴンを送り出します。

| 開発責任者 | 袴田 仁 (はかまだ ひとし)
(株) 本田技術研究所 執行役員

1982年、(株) 本田技術研究所入社。空調設計を経て99年HR-V、01年インテグラTYPE RのインテリアPLを担当。その後、08年FitのLPL代行、空調開発室MGを経て、今回5代目となるステップ ワゴンのLPLを務める。





みんなに、もっとラクに、もっとやさしく。 毎日の暮らしに楽しさを広げる、ミニバンの創造。

たとえ、どんなにたくさんの機能や先進の装備が備わっていても、使う人が限られたり、使いこなすことができなければ意味がありません。とくに、今や3世代家族に使われることが多くなったユーティリティ・ミニバンでは、なおさらです。

そこで、新しいステップワゴンの開発にあたっては、もっとラクに、もっとやさしくをテーマに、すべての領域にわたりホスピタリティを徹底追求し、驚きやワクワクをもたらすミニバンの創造をめざしました。

その結果、

- パッケージ**
 - 誰もがゆったりとくつろげる、ビッグキャビン。
 - 美しさと使いやすさを備えた、ビューティリティリビング。
- ユーティリティ**
 - 3列目の乗り降りや荷物の積み降ろしをラクにする、わくわくゲート。
 - 子どもから女性まで簡単に手軽に操作できる、3列目分割床下格納シート(マジックシート)。
- パフォーマンス**
 - 多人数乗用時でもストレスなく走れる、VTEC TURBO。
 - みんなの移動時間をより快適にする、ダイナミクス性能。
- セーフティ**
 - ドライバーの負担を軽減する安全運転支援システム、Honda SENSING。
- 福祉車両**
 - 2列目、3列目に車いすの方が2名乗車できるタイプをはじめとする3タイプの車いす仕様車など、多彩な福祉車両をラインアップ。

を備えた、Newステップワゴンが完成。

全身にホスピタリティを貫いたこの一台が、家族の毎日に、楽しさを広げていきます。



STEPWGN



STEPWGN SPADA



毎日にさらなる楽しさをもたらすミニバンへ。 Hondaならではのホスピタリティを全身に施しました。

[パッケージ] (P4-P9)



パッケージ

すべての席で、ゆったりとくつろげる。
みんなにうれしい、おもてなし空間を創造。

- 5ナンバーの枠を守りながら、居住スペースを最大化。
- リアスライドドア開口部の拡大により、乗降性を向上。
- 視覚面からも広さを感じさせるデザインの工夫。
- 少ないチカラで開閉できる、パワースライドドア。[タイプ別設定]
- 交差点やカーブでの優れた運転視界を。
- 荷物の積み降ろしがラクな低い開口部地上高と大きなテールゲート開口部。

インテリアデザイン

機能的に全体を美しくデザインした空間、
「ビューティリティリビング」を創造。

- 上質さをシンプルに表現したフロント席まわり。
- ソリッドな素材感を活かした、こだわりの加飾。[タイプ別設定]
- きちんと「しまえる」ユーティリティを。
- 見た目からも座り心地のよさが伝わるシート。

インテリアスタイルにも明快な個性を。

車内の便利も、快適も、Hondaならではのホスピタリティ。

エクステリアデザイン

“Modern Functional Beauty”をコンセプトに、
ボックススタイルの新しい機能美を追求。

- 家族のための機能を、美しいボックスにして表現したステップワゴン。
- 洗練された角Rデザイン。
- エッジを効かせるフロントマスクのメッキ加飾。
- ビラーを感じさせないサイドウインドウ。
- LED採用の縦型リアコンビネーションランプ。
- 足もとから洗練された印象を。
- ナチュラルカラーを中心に全7色のバリエーション。

アグレッシブな機能美を突き詰めたSPADA。

- アグレッシブさを全面に押し出したフロントマスク。
- 低重心を強調する、ロアボディまわりのデザイン。
- リフト抑制効果を最大限に発揮する、スポイラー。
- スパルタンな印象を強調する縦型リアコンビネーションランプ。
- SPADA専用アルミホイール。
- SPADAのイメージカラー、パープルをはじめ、質感の高いボディカラーを。

操作简单、3列目分割床下格納シートが、
「わくわくゲート」のある自由をさらに拡大。

- 3列目席の分割床下格納で、サブドアからの乗り降りをラクに、楽しく。
- 格納時にはフラットフロア、低い開口部地上高を実現。
- シートの格納も、立ち上げも、室内外から簡単に。
- ロングスライドにより、2列目の使い勝手も向上。
- シートアレンジもさらに多彩に、フレキシブルに。

[ユーティリティ] (P10-P11)



ミニバンの新たな楽しさ・使い勝手を創造する、
縦にも横にも開く「わくわくゲート」。[タイプ別設定]

- サブドアで、狭い場所での荷物の出し入れをもっとラクに。
- サブドアは、人がラクに楽しく乗り降りする、新しい出入口としても活躍。
- テールゲートも、より大きく、使いやすく。
- サブドアと後方視界確保の両立。

[パフォーマンス] (P12-P14)



ファミリーミニバンにベストなエンジンを。
Hondaの答えは、新開発VTEC TURBO。

- 1.5Lエンジンで、低燃費と2.4Lエンジン並みのトルクを両立。

【低燃費&高トルクを生み出す具体化技術】

- 直噴システム
- 電動ウェイトゲート付ターボチャージャー
- 吸排気デュアルVTCによるバルブオーバーラップ制御

- エンジンの静粛性向上

ターボエンジンに合わせ、CVTを開発。
燃費と走りの高次元バランスを追求。

- VTEC TURBO エンジンに合わせ最適化。
- フリクション低減を軸に、効率を高め、燃費向上へ。
- 4WD車には、リアルタイムAWDを専用セッティング。

扱いやすさと、
安心・快適な乗り味を求めたシャシー。

- セダンのように自然なロールフィールと、乗り心地向上をめざしたサスペンション。
- SPADA専用サスペンションを開発。
- 軽くスムーズな操舵性とリニアな応答性を追求したステアリング。
- コントロール性に優れ、多人数乗車でもしっかり効くブレーキ。

しなやかで快適な乗り心地を支える、
ボディ剛性を徹底追求。

- コーナーの補強で、強固なボックス構造に。
- リアフロア井桁構造強化。
- テールゲート開口部剛性の向上。
- 細部にわたり軽量化を徹底。
- ハイテン材の適用を拡大。
- ドアの軽量化もプラス。
- 全高をアップしながらもクラストップレベルの空力性能を。
- 1列目と3列目で会話ができる静かさをめざして。

[安全・環境] (P15-P16)



安心して快適な運転を支援する
「Honda SENSING」を、ファミリーミニバンへ。

メーカーオプション

- ミリ波レーダーと単眼カメラによる、精度の高い検知能力で、安全運転を支援。
- 家族のドライブに大きな安心をもたらす「Honda SENSING」の機能。

より多くの人にゆとりと安心をもたらすために、
さらなる性能の向上をめざしています。

- 乗員はもとより、相手車両や歩行者まで配慮したボディ。
- 新開発 助手席 i-SRSエアバッグシステム
- その他の安全装備

[先進装備] (P17)



乗る人にやさしい、楽しい、ステップワゴンの先進装備。

- メーター表示と警告音に加え、音声でお知らせする、Honda初の音声ガイダンス。
- 前輪のおおよその向きがツェーにわかって安心、Honda初のタイヤ角度モニター。[メーカーオプション]
- Honda インターナビ+リンクアップフリー+ETC 車載器〈ナビゲーション連動〉[タイプ別メーカーオプション]
- 多彩な視線で走行と駐車を支援する、マルチビューカメラシステム。[タイプ別メーカーオプション]

[福祉車両] (P18)

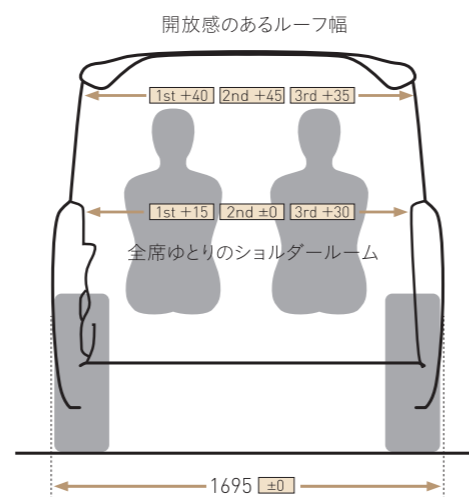


充実の福祉車両をラインアップ。

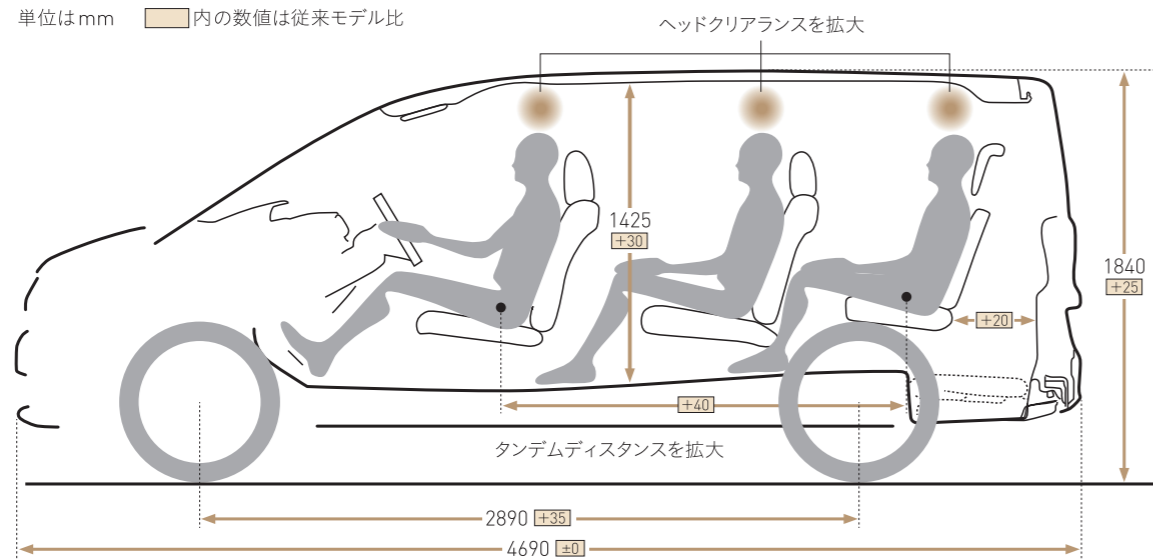
- シートが電動で回転して昇降する、リフトアップシート車。
- 出かける喜びを広げる、3タイプの車いす仕様車。(2015年夏発売予定)

すべての席で、ゆったりとくつろげる。 みんなにうれしい、おもてなし空間を創造しました。

日常での使い勝手を考え、5ナンバーサイズにこだわりながら、すべての席でゆったりとくつろげる室内空間を創造すること。この課題を解決するために、Hondaが培ってきたパッケージング技術のすべてを投入しエンジンルームの短縮やホイールベースの延長をはじめ、全高を高く、ルーフ幅を広げるなど、居住スペースを極限まで拡大。その上で、視覚的にも広さを感じられるよう細部に至るまで工夫を凝らしました。結果、1列目2列目はもちろん、3列目でもゆったりとくつろげる、全席快適空間を創造しました。



■ パッケージ図 G[FF]メーカーオプション非装着車
単位はmm 内の数値は従来モデル比



■ 5ナンバー※の枠を守りながら、居住スペースを最大化。

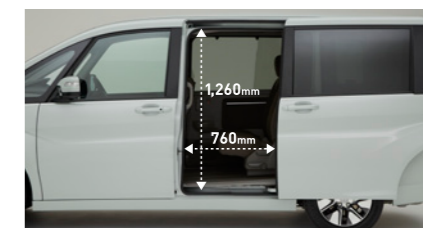
5ナンバーサイズの全長、全幅のなかで、いかに居住スペースの拡大を図るか。この課題に対し、従来モデル比で、エンジンルームを40mm短縮し、ホイールベースを35mm延長。その分、1列目と3列目の席の距離を40mm長く、荷室前後長も20mm延ばしました。加えて全高を25mm上げるとともに、室内高はそれを上回る30mm拡大。ルーフ幅も、1列目席で40mm、2列目席で45mm、3列目席で35mm拡大し、ヘッドクリアランスだけでなく肩まわりのゆとりを広げています。

※ SPADAは3ナンバーサイズ



■ リアスライドドア開口部の拡大により、乗降性を向上。

ホイールベースの延長、全高拡大、低床化の徹底により、リアスライドドアのボディ側開口部の高さと幅を広げました。ただし、実際の使い勝手を考えると、開口部が大きいほど、開閉操作が大きくなり、時間もかかります。そこでステップワゴンでは、スムーズに乗り降りでき、ベビーカーなどの積み降ろしが簡単にできることを要件に、必要にして十分なサイズとしました。



● 数値は、Honda測定値

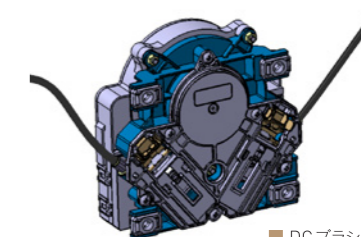
■ 視覚面からも広さを感じさせるデザインの工夫。

室内幅の拡大をもたらしたのが、サイドウィンドウを立たせたデザインです。空間効率を高めるためサイドウィンドウを立たせていくと、外観が商用車のように見えてしまいがちですが、デザインに工夫を凝らすことでこれをクリア。室内においても、ルーフ面とサイドウォールの面をなめらかにつないで一体に見せることで、空間に広がりを与えています。また、リアドアを開けた際にルーフライニングが見えると広く感じることを考慮し、ドア開口部上端の高さを設定しています。



■ 少ないチカラで開閉できる、パワースライドドア。 タイプ別設定

ドア内部の機構を軽量化するとともに、ドライブユニットにパワースライドドアとしては初のDCブラシレスモーターを採用。これにより、開閉のためのクラッチが不要となり、大幅な小型・軽量化を実現しています。またワンタッチパワースライドドアにしたことで、操作力は従来モデルの1/6に。Hondaスマートキーと連動して、スマートキーを携帯してドアハンドルを引けば、施錠状態から全ドアならびにテールゲートの解錠とともに、パワースライドドアが開きます。



■ DCブラシレスモーター

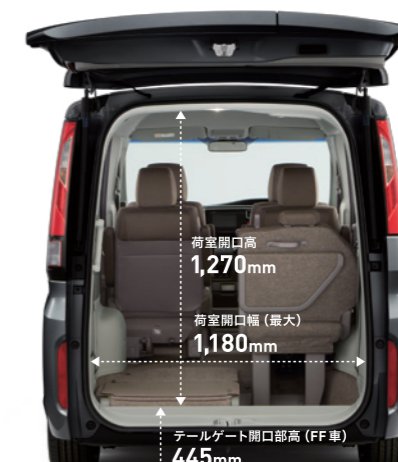
■ 交差点やカーブでの優れた運転視界を。

フロントビラーによる死角を減らすため、衝突安全性能を確保しながら、断面を極細化。その上で、三角窓を大型化することで斜め前方の視界を向上させ、交差点やカーブでの見通しをよくしています。また助手席側にサイドビューサポートミラーも設定し、縦列駐車時の路肩寄せや狭い道でのすれ違いなどの視界をサポート。さらに、リア左側のガラス面を大きくし、後退時などの視界にも配慮しています。



■ 荷物の積み降ろしがラクな、低い開口部地上高と大きなテールゲート開口部。

テールゲート開口部の形状をよりきれいなスクエアに。また、開口部の地上高を従来モデルより85mm下げ、445mmとしました。これにより、大きいモノや重いモノの積み降ろしが、さらにラクになりました。



● 数値は、Honda測定値



機能的に全体を美しくデザインした空間、 「ビューティリティリビング」を創造しました。

いわゆるクルマの室内ではなく、あくまでもインテリアとしてのデザインに。
クルマで過ごす時間を重視し、上質な居心地や空間としてまとまりのある美しさを。
いわば北欧スタイルのような、BeautyとUtilityの融合をめざした、
「ビューティリティリビング」をコンセプトにデザインしました。
人にやさしくリラックスできる「カタチ・色・素材」、
見て、触れて、心地よい「質感」、座り心地のよさが目に見える「シート」、
さりげなくスマートに使える、収納をはじめとする「ユーティリティ」を追求。
乗る人全員が主役と感ぜられる、Hondaならではの
ホスピタリティあふれるインテリア空間に仕上げました。



女性視点プロジェクトによる取り組み

今回の開発にあたっては、日常もっとも利用することの多い子育てママ層の気持ちをつかむことが大きなテーマのひとつとなりました。そこで、「女性視点プロジェクト」を結成。
真に女性の求めるミニバンをめざし、その発想を開発初期から反映させていきました。
「母としての我慢を減らす」「母としての喜びをふやす」「女性としての喜びをふやす」をポイントに、
トレンドリーダーの方々の協力をおおぎつつ、体験ワークショップやリサーチを重ねるなかで見出したこと。
その最たるものが、実は人々がいいと感じるものは「ジェンダーフリー」であるということです。
とりわけ、デザインにおいては、そうした価値観の変化をベースに、
ひとつひとつの要素を掘り下げ、磨き上げていきました。

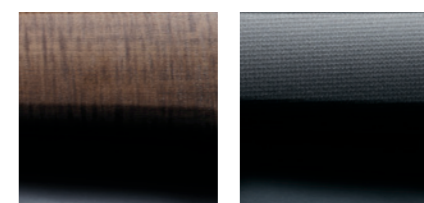
■ 上質さをシンプルに表現したフロント席まわり。

色や素材でカタチをつくる。濃淡で深みを出す。まとまりを大切にしながら、広がりを生み出す。そんなデザインへの意思は、インパネまわりにも表れています。安定感あるロアボードの上に、薄くワイドなアッパーボードがフローティングする構成で、落ち着きある伸びやかさを表現。クリアセンターパネルは2層成形で、立体感や奥行きをもたせた高い質感を実現しています。そこに、視線移動が少なく見やすいアウトホイールメーターをインテリアと違和感なくなじませ、統一感あるデザインに仕上げています。



■ ソリッドな素材感を活かした、こだわりの加飾。タイプ別設定

上級グレードのインパネには、3Dフィルムによる立体的で厚みのあるインテリアパネルをあしらいました。見た目はもちろん、手触りのよさまでもプラス。ステップワゴンの木目には無垢材のような温かみを、SPADAのメタルには硬質感をしっかりとらせています。さらにエッジには、シルバーのモールで、アクセントをつけています。



■ 木目調(G・EX) ■ クールガンメタ(SPADA)

■ きちんと「しまえる」ユーティリティを。

家族の楽しいドライブにテーブルやポケットなどの収納は欠かせません。こうしたアイテムをしっかり備えつつ、空間をよりスマートに使ってもらえるよう、これまでの取り出しやすさ、置きやすさから、きちんと「しまえる」ことを第一に考えました。それを具現化したのが、メーター手前に設けられたインパネアッパーボックス。ティッシュボックスや財布など、収納することができます。またインパネ中央下にはセンターテーブルを装備。インパネ内蔵型で使用しない時は完全格納できます。



■ インパネアッパーボックス ■ センターテーブル タイプ別設定

■ 見た目からも座り心地のよさが伝わるシート。

まさしくリビング、といえる空間に仕立てるために、シートの見せ方を重視しました。

● 1列目シート

シート表皮を背面までくると巻き込んだ北欧家具のようなモダンなデザインに。また座面、シートバックともに耐圧分布を低減し、座り心地も向上させています。

● 2列目シート

タンブル格納からロングスライドに変更したことで、シートバック、ヘッドレストをサイズアップ。パッドも厚くし、座り心地を高めています。キャブテンシートでは、シートレールとシートの取付構造をフローティング構造とすることで、路面からの入力を低減し、乗り心地を向上させています。6:4分割ベンチシートでは、ソファのような包まれ感のある座り心地をもたせています。また、スライドレールの低フリクション化により、操作荷重を従来モデルの約1/3にし、使い勝手も向上させています。

● 3列目分割床下格納シート

ミニバンの3列目シートの座り心地と、床下格納機構を両立すること。このむずかしい課題に対し、シート座面に用いるSパネの長さを、十分な沈み込みが得られるよう確保。さらに座面角を増やすことで座り心地に優れたシートを実現しています。



● 写真はキャブテンシート



インテリア スタイルにも明快な個性を。ステップワゴン & SPADA。

■ ステップワゴンは軽やかなコーディネート。



テーマは、温かみがあり、飽きのこない新しさと家族の安心につながるしっかり感。ウォームな色調と、やさらかな素材感で、若々しい空間をめざしました。

■ SPADAは艶やかなコーディネート。



つくりたかったのは、重厚な大人の空間。ブラックをベースにした深みのある色調と、硬質な素材感で、クールに仕上げています。

■ ドライバーをやさしくつつみ込む、インパネデザイン。



明るい色調とやさらかな素材感にシャープなアクセントをプラスし、塊感のあるデザインをつくりあげました。もっとも特徴的なのは、上級グレードのインパネミドルパッド、シフトノブ、ステアリングホイールに採用した3Dフィルムによる立体加飾。木目の凹凸もリアルに、本物の木のような温もりと手触りを感じさせます。

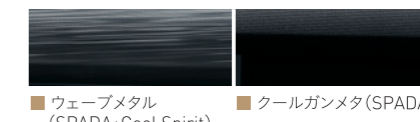


■ 木目調 (G・EX) ■ 木目調 (G・EX専用メーカーオプション) ■ ウォームガンメタ (G, B)

■ ドライビングへの高揚感を駆り立てる、インパネデザイン。



SPADA・Cool Spiritではソリッドな塊感を表現するために、インテリアパネルに採用した3Dフィルムの立体加飾は金属調としました。ゆらぎ模様の上に、さらに幾何学柄の柄がのった、新しい見え方が目をひきつけます。

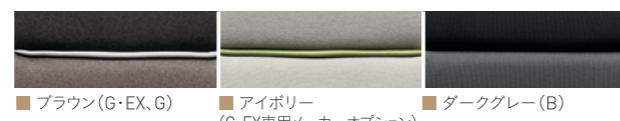


■ ウェーブメタル (SPADA・Cool Spirit) ■ クールガンメタ (SPADA)

■ カラーに合わせて、素材も吟味。

ナチュラルカラーをベースに、タイプによって「ダークグレー」と「ブラウン」を設定。「ダークグレー」のシート表皮は、機能性に優れたタフネス素材の組織調ジャージ。「ブラウン」は、しっかりした風合いのあるツイード調ジャージを採用しています。またメーカーオプションでご用意した「アイボリー」のシート表皮は、撥水加工を施したツイード調ジャージに。サイドには、質感と機能

性を備えたプライムスムースを採用しています。

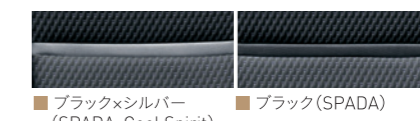


■ ブラウン (G・EX, G) ■ アイボリー (G・EX専用メーカーオプション) ■ ダークグレー (B)

■ パーソナル空間にふさわしい、色と素材を。

SPADAはブラック、SPADA・Cool Spiritにはブラック×シルバーのインテリアカラーを設定。個性を主張するパーソナル空間にふさわしいカラーをセレクトしました。SPADAのシート表皮は、メインに立体感のあるソフトウィーブを、サイドにはツイード調ジャージを採用。グロッシーブラックのアクセントを施しました。SPADA・Cool Spiritでは、メインにソフトウィーブを。サイドには質感と機能

性を備えたプライムスムースを採用。シルバーのアクセントとダブルステッチにより、上質な手込み感を演出しています。



■ ブラック×シルバー (SPADA・Cool Spirit) ■ ブラック (SPADA)

■ 全席の乗員が一体感を味わえる、ライティングの工夫。

夜間のドライブでも、車内のみんなが気持ちよく過ごせるように。明るさを自由に調節することができるルームランプと、各自が使えるスポットライトをユニット化し、各席に採用しました。また、インパネやドアまわりのイルミネーションでは、ステップワゴンはアンバー系、SPADAはバイオレット系とし、それぞれの世界観を照明でも表現しています。



■ アンバー (G・EX, G)



■ バイオレット (SPADA, SPADA・Cool Spirit)



車内の便利も、快適も、Hondaならではのホスピタリティ。

A 完全収納できるセンターテーブル。 タイプ別設定

使わない時は、インパネ内に収納することができるので、ウォークスルーを妨げることがありません。USBジャックやHDMIの端子にも近く、スマートフォンを接続した際にも便利です。



D 整理して収納できる、大容量のインパネアッパーボックス。

メガネやカード、携帯電話などをすぐ取り出せ、整理して収納できる分割構造のボックスをメーター手前に設けました。



B 2列目席には使い勝手のよいシートバックテーブルを設定。 タイプ別設定

1列目席のシートバックに、カップホルダーとコンビニフックを備えた格納式のテーブルを用意。スマートフォンや小物などを入れておくのに便利なアッパーポケットも設けています。



C 子どもやお年寄りも安心。大型アシストグリップ。

スライドドアとテールゲートの内側に大型アシストグリップを装備。つかみやすい形状で、乗り降りをラクにします。



トータル16個。ドリンク&ボトルホルダーをご用意。

- 1 ドリンクホルダー(運転席/助手席:各1個)
- 2 収納式ドリンクホルダー(助手席側:1個)
- 3 シートバックテーブル・ボトルホルダー(運転席/助手席)
- 4 フロントドア・ボトルホルダー(両側:各1個)
- 5 スライドドア・ボトルホルダー(両側:各1個)
- 6 ドリンクホルダー3列目(右側3個/左側2個)



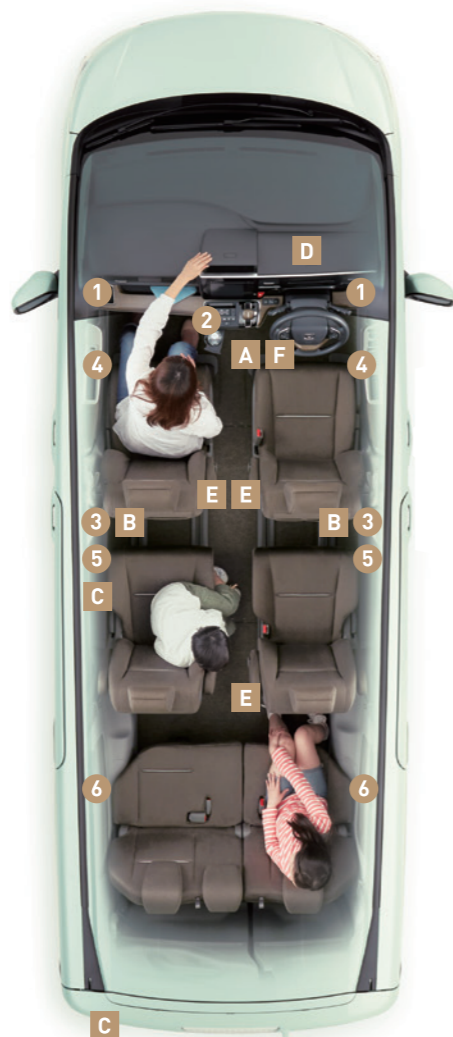
■ 収納式ドリンクホルダー(助手席側)



■ スライドドア・ボトルホルダー(右席側)



■ ドリンクホルダー3列目(右側)



E さりげなく使えるようデザインされたコンビニフック。

前席アームレストとキャブテンシートの内側アームレストにコンビニフックを装備。スマートなデザインで、使わない時は目立たせないように配慮しています。



F 全列に電源装備。移動時間がもっと楽しくなります。

携帯電話などの充電はもちろん、ゲーム機やさまざまな機器を接続して、移動時間を楽しむことができるアクセサリソケット(DC12V)を1列目と3列目に標準装備*。ディーラーオプションのUSBチャージャーを2列目に装着すれば、全列で電源を使用することができます。*Bは1列目のみ。

すべての席に快適な風を。 タイプ別設定

運転席、助手席、2列目と3列目、それぞれのゾーンで好みの温度に設定できる、トリプルゾーンコントロール・フルオートエアコンディショナーを設定。運転席にはイオンを放出して、お肌にハリ・ツヤ・キメの美肌効果や、空気の浄化・脱臭・除菌などの効果を生むプラズマクラスター技術を搭載しています。



* プラズマクラスターマーク及びプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。



IRカット(遮熱)/UVカット機能付フロントウインドウガラス+ IRカット(遮熱)/スーパーUVカットフロントドアガラス。 タイプ別設定

UVカット機能付のフロントウインドウガラスには、室温を上昇させる赤外線をカットするIRカットガラスを採用。フロントドアガラスには、IRカットガラスに加え、紫外線(UV)を99%カット*するスーパーUVカットガラスを採用。暑さや日焼けを抑制します。*Honda調べ。ISO9050基準。



日射しをやわらげ、快適に。ロールサンシェイド



2列目席左右にロールサンシェイドを。眩しさが気になる時にうれしい装備です。

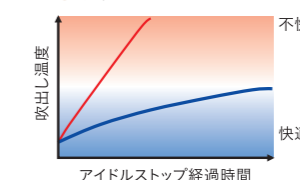
冬場だけでなく冷え防止にうれしい。シートヒーター タイプ別設定



運転席と助手席にシートヒーターを設定しました。スイッチはインパネの使いやすい位置に配置しています。

アイドリングストップ中の室内温度上昇を抑える。蓄熱エバポレーター

● 効果イメージグラフ



アイドリングストップ中も、エアコンの効きを維持し空間を快適に保つとともに、アイドリングストップ時間の延長により燃費向上に貢献します。

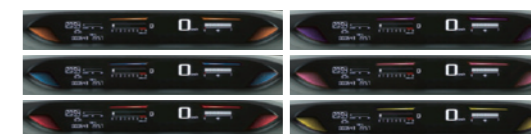
視認性に優れたメーター&ディスプレイ。

視線移動の少ないアウトホールメーターを採用。ディスプレイ(インフォメーションディスプレイまたはマルチインフォメーション・ディスプレイ)も、視認性に配慮しています。なかでも時計表示は、センター付近の上部に配置するとともに、3列目席からでも視認できる文字サイズとしています。また、エコドライブ度をお知らせするアンビエントメーターは、上部の見えやすい位置にレイアウトし、立体的かつわかりやすい見え方の演出を施しています。



● 照明色を自由にカスタマイズ可能。

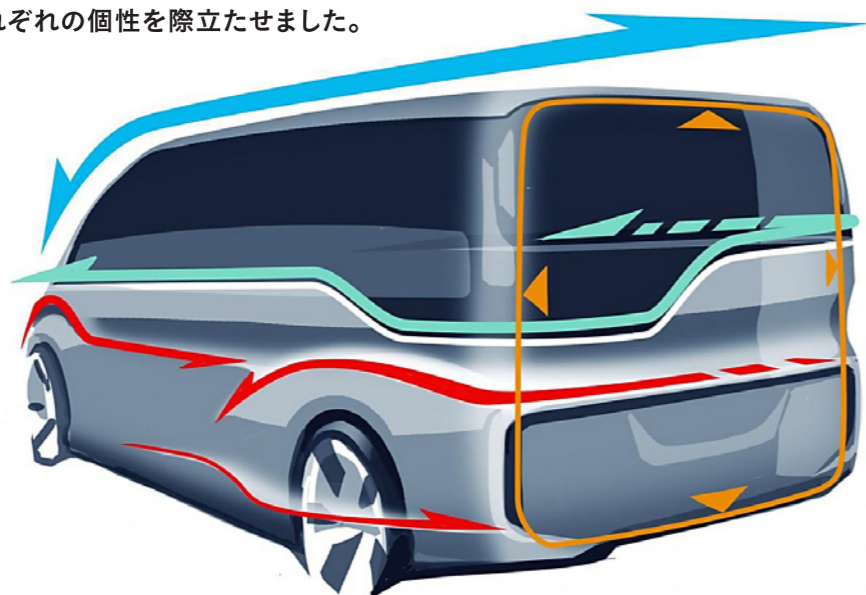
メーター照明の色は、初期設定でステップワゴンはアンバー、SPADAはバイオレットとされていますが、全6色からお好みの色をセレクトできます。マルチインフォメーション・ディスプレイ装着車は、さらにイグニッションスイッチを押すたびに照明色が変わるランダムモードも選択できます。





“Modern Functional Beauty”をコンセプトに、ボックススタイルの新しい機能美を追求したデザイン。

Hondaらしい躍動感、未来感を加えながら、ボックススタイルの楽しさ、美しさを徹底的に突き詰めること。その上で、Hondaの新発想「わくわくゲート」の採用にともない、リアに左右非対称デザインを施し、ひと目で家族をひきつけるデザインとしました。またステップワゴンはリアから、SPADAはフロントからデザインすることで、それぞれの個性を際立たせました。



■ 家族のための機能を、美しいボックスにして表現したステップワゴン。

クラストップの広さは、ワンモーションビッグキャビンで。安心感の高い走りは、どっしりしつ躍動感のあるロアボディで表現。機能とデザインを融合させながら、知性や品格を感じさせる佇まいを追求し、街になじみ、爽快かつ健康的な毎日を期待させる、外観をつくりあげました。

● ワンモーションビッグキャビン

フロントピラーをできる限り前へ、ボディ全体をひとつの塊として表現することで、サイズ以上に伸びやかさを感じさせるフォルムに。サイドのベルトラインも、スタンスのよさと室内の広さを印象づけます。

● 左右非対称のモダンデザイン

テールゲートを6:4に分割するサブドアの採用に合わせ、左右非対称を強調する個性的なデザインにしています。

● グッドスタンス骨格

安心感と躍動感をあわせつつスタンスのよさを求め、前後のフェンダーに強い張りのある造形をつくりあげました。

● 大開口テールゲート

ボディ下部までの大開口を見た目からもアピールするため、リアバンパーの代わりにリアガーニッシュを採用。特徴ある一体デザインとしています。



■ 洗練された角Rデザイン。

バンパーコーナーやフロントフェンダーを計算された複雑な面で構成することで、連続性のある見え方を実現し、洗練された印象に。また、サイドウィンドウとルーフにおいても曲率を微妙に変化させながら角Rにつなぎ、丁寧な作り込みと質感を醸し出しています。



■ エッジを効かせるフロントマスクのメッキ加飾。

フロントグリルやロアサイドの開口部の要所にメッキ加飾を施し、フロントマスクを引き締めています。



■ ピラーを感じさせない、サイドウィンドウ。

サイドピラー、リアクォーターピラー、リアピラーをすべてブラックアウトすることで、サイドウィンドウが一面に見えるように。これにより、前後に長い、伸びやかな印象を与え、広い室内空間を予感させます。



■ LED採用の縦型リアコンビネーションランプ。

ステップワゴンのアイデンティティであった縦型リアコンビネーションランプを、明るく省電力のLEDをもって復活させました。また、バックランプは左側のみ配置。アウターレンズをやや膨らませることで、ワイドな配光を実現しています。



■ 足もとから洗練された印象を。

フルホイールキャップに加え、16インチアルミホイールを設定。フィン形状のシャープなデザインで、洗練されたイメージに仕上がっています。



■ 16インチアルミホイール (G・EX)

■ 16インチスチールホイール+フルホイールキャップ (G・B)

■ ナチュラルカラーを中心に全7色のバリエーション。

■ 全タイプ共通ボディカラー



ホワイトオーキッド・パール
美しいパールをちりばめた、上品で清楚なホワイト。

スーパープラチナ・メタリック
こだわりの質感が陰影を生み、フォルムを美しく魅せるシルバー。

モダンスティール・メタリック
躍動的なフォルムを引き締め、風格を漂わせるダークカラー。

コバルトブルー・パール
華やかさと深みを備え、存在感のある高彩度ブルー。

プレミアムディープロップ・パール
艶やかでありながら、品格をたたえた深紅。

■ ステップワゴン専用ボディカラー

ミルクグラス・パール
乳白色ガラスのやわらかで豊かな質感のオパールカラー。



クリスタルブラック・パール
漆黒の輝きが印象的な、特別なブラック。



アグレッシブな機能美を突き詰めた、SPADA。

めざしたのは、アウトバーン・クルーザー。

SPADAにおいては、機能美を徹底して磨きあげながら、

見せかけのファッション性だけではない空力性能を備えた

エアロパーツをまとわせることで、精悍さあふれる個性を表現しました。

前進感、押し出し感を強調するため、フロントノーズをステップワゴンより45mm延長。

これによりSPADAとして初めて、3ナンバーサイズボディになりました。



■ アグレッシブさを全面に押し出したフロントマスク。

フロントノーズの延長に加え、ロアグリルを横断するメッキバーによって、精悍さとワイド感を強調。LEDアクセサリランプ内蔵の専用フロントグリルにはプラチナ調クロームメッキを。アウトドアハンドル、リアライセンスガーニッシュにはクロームメッキをあしらっています。また、SPADA・Cool Spiritでは、これらメッキをダーククロームとし、上質感とクールさをいちだんと高めています。



■ 低重心を強調する、ロアボディまわりのデザイン。

サイドのロアスカートは、タイヤを包み込むようなイメージにデザイン。専用のカラーサイドシルガーニッシュに加え、フロントとリアバンパーのアンダー部に折り返しをつけ、光を極力、下の方で反射させることで低重心イメージを高めています。またSPADA専用サスペンションがもたらす安定感のある走りを感じさせるデザインとしています。



■ リフト抑制効果を最大限に発揮する、スポイラーを採用。

テールゲートスポイラーは、後づけ感のない一体感のあるデザインに。風洞実験を重ね、単なるドレスアップパーツとしてではなく、車体のリフトを抑え、高速走行時のさらなる安定性向上に寄与しています。



■ スパルタンな印象を強調する縦型リアコンビネーションランプ。

赤基調のステップワゴンに対し、黒艶をベースカラーとすることで、よりガラス面になじみ、トータルにスパルタンな印象に仕上げられています。



■ SPADA専用アルミホイールを採用。

太さの異なる2本のスポークが描き出すモチーフを5組レイアウトした新デザインにより、ダイナミックかつ先進的なSPADAの新しい見え方にチャレンジしています。SPADAは16インチ、SPADA・Cool Spirit (FF車)は17インチとしています。



■ SPADA専用17インチアルミホイール (SPADA・Cool Spirit FF車)

■ SPADA専用16インチアルミホイール (SPADA、SPADA・Cool Spirit 4WD車)

■ SPADAのイメージカラー、パープルをはじめ、質感の高いボディカラーを。

■ 全タイプ共通ボディカラー



ホワイトオーキッド・パール
美しいパールをちりばめた、上品で清楚なホワイト。

スーパープラチナ・メタリック
こだわりの質感が陰影を生み、フォルムを美しく魅せるシルバー。

モダンスティール・メタリック
躍動的なフォルムを引き締め、風格を漂わせるダークカラー。

コバルトブルー・パール
華やかさと深みを備え、存在感のある高彩度ブルー。

プレミアムディープロッソ・パール
艶やかでありながら、品格をたたえた深紅。

■ SPADA専用ボディカラー

プレミアムスパイスパープル・パール
クリスタルガラスのような硬く精悍な気高いアメジストカラー。



プレミアムスパークルブラック・パール
豪華な煙めきが美しい重厚感のあるブラック。



ミニバンの新たな楽しさ・使い勝手を創造する、 縦にも横にも開く「わくわくゲート」。

タイプ別設定

ユーティリティを追求するなかで、ミニバンのテールゲートはどんどん大型化してきました。もちろん大きな荷物をたくさん積み込む際には、とても便利なのですが、ふだん使いに、もっと使い勝手をよくできないか。そんな思いから、実際の生活行動のなかでの使われ方を徹底的に検証しました。そして生まれた新しい発想が、大きな縦開きのテールゲートに、よりフレキシブルに使える横開きのサブドアを設けることでした。テールゲート+サブドアで、縦にも横にも開く「わくわくゲート」。ミニバンユーザーの方なら、ひと目でその便利さに気付いていただける。自分たちならではの使い方を広げてもらえる。Hondaならではの、新提案です。



■ サブドアで、狭い場所での荷物の出し入れをもっとラクに。

ショッピングセンターの駐車場やご自宅のガレージなどで、壁や他のクルマとぶつかりそうで、テールゲートを開けられない。小柄な女性などの場合、開いたテールゲートに手が届かないことも。そうした日常での困りごとを一気に解決してくれるのが、サブドアの存在です。ドアの開度は、3段階。状況に応じて臨機応変に、便利に使いこなすことができます。

- ① 開度 35° / 開口幅 350mm / 後方突出量 400mm
12ロールのトイレットペーパー、2L飲料のケース、ベビーカーやポリタンクなどを無理なく出し入れできます。
 - ② 開度 57.5° / 開口幅 610mm / 後方突出量 640mm
荷物の出し入れはもちろん、3列目席への乗り降りにも利用できます。
 - ③ 開度 78° (全開) / 開口幅 830mm / 後方突出量 760mm
自転車を積み込めるほか、ベビーカーもたたまず、載せられます。
- 数値は、Honda測定値



サブドアは、荷物を出し入れする際の安全性はもちろん、壁際での出し入れのしやすさ、高速道路のサービスエリアなどでの安全性に配慮し、左開き。また女性や子どもでもラクに開けることができるように、アウトドアハンドルを位置を低めに設定。閉める際の荷重もテールゲートの約1/2の軽さにしています。

■ サブドアは、人がラクに楽しく乗り降りする、新しい出入り口としても活躍。

従来のミニバンだと、3列目に座っている人は降りる際に、2列目の人が降りるまで待たなければなりません。サブドアを活用すれば、リアからの乗り降りが可能に。そのため、大人の女性がほとんど屈むことなく乗り降りできる開口の高さと、無理なく足をかけられる地上高に設定しています。またボディ側とドア側の両方にグリップを装備。子どもから高齢の方まで、ラクに乗り降りすることができます。



「わくわくゲート」の制御

- テールゲートとサブドアを同時に開けられないよう電子制御しています。
- 室内から不要に開かないよう「開」ボタンは約1秒の長押し設定。ボタンは誤操作を防ぐため、グリップの下側に配置。
- インナードアハンドルでサブドアを開けられるのは、次の場合です。・イグニションOFF時：車速ゼロで、運転席ロックとチャイルドロックが解除されていて、テールゲートが開まっていること。・イグニションON時：シフト位置が「P」で、かつ車速ゼロ、運転席ロックとチャイルドロックが解除されていて、テールゲートが開められ、リアワイパーが作動していないこと。また、テールゲートを開けた状態で、シフトを「P」位置から動かすと、警告音が発せられます。
- アウトドアハンドル使用の場合、チャイルドロック解除の必要はありませんが、その他の条件はインナードアハンドルと同様です。

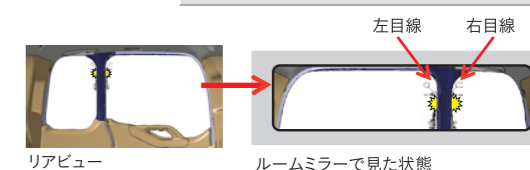
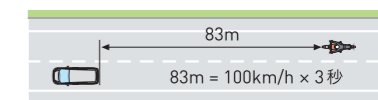
■ テールゲートも、より大きく、使いやすく。

大開口と低床がもたらすメリットをベースに、テールゲートならではの使い勝手のさらなる向上をめざしました。開口部の拡大にともない、上下方向に180mm拡大。下部にはバンパーの代わりとなる樹脂製ガーニッシュを施しました。ほぼ中央に設けたサブドア用のドアヒンジも、出っ張りなく、すっきりと仕上げ、外観上ヒンジの存在を感じさせません。



■ サブドアと後方視界確保の両立。

● サブドア用の極細ビラー
テールゲートガラス内に配したビラーの幅は極細の68mmに。この数値は、100km/h差で走行する後続車の接近を3秒前には発見できるという、独自基準のもとに導き出したもの。実際のテストでも、83m後ろの二輪車のヘッドライトがリアビューミラーで視認できることを確認しています。



● 2面同時払拭リアワイパー

雨天時の後方視界を確保するため、サブドアの見切り部分を横切り、左右2面を同時に払拭できるワイパーに。見切り部分を横切る際の摩擦による拭き筋が出にくい、シリコンワイパーブレードを採用。またガラスは撥水ガラスとしています。





操作簡単、3列目分割床下格納シートが、「わくわくゲート」のある自由をさらに広がります。

新たに生まれたサブドアを使った乗り降りを、よりラクに。
3世代での移動を、もっと楽しく、心地よく。
そのために、3列目シートを分割し、床下格納機構を採用。
車外からはもちろん、車内でも簡単に操作できる、まさにマジックなシートを実現しました。
家族のお出かけを、ゆたかなコミュニケーションを広げる時間へ。
ステップ ワゴンは、ミニバン空間の楽しみ方を大きく進化させました。

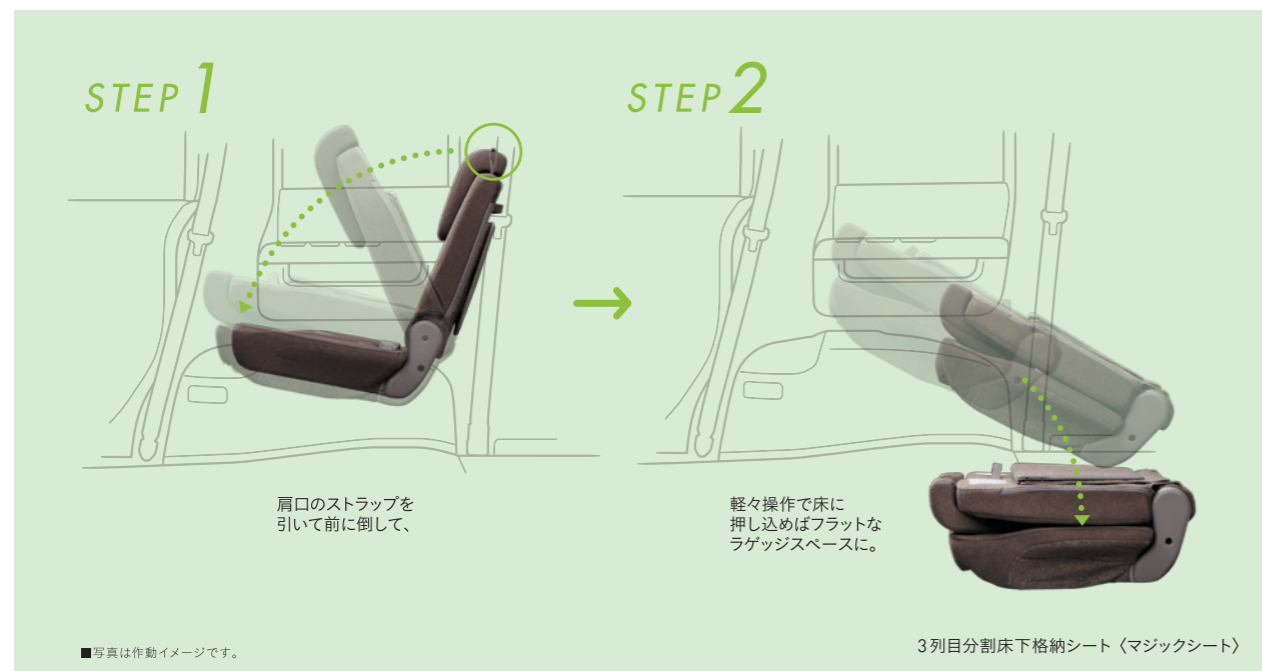
3列目席の分割床下格納で、サブドアからの乗り降りをラクに、楽しく。

すっきりした空間と荷室の使い勝手を損なうことなく、「わくわくゲート」を楽しく使ってもらうために。ステップ ワゴンでは、3列目シートを分割式にし、床下に格納できるようにしました。サブドアからの乗り降りをスムーズにする通路としてはもちろん、自転車やベビーカーなどを積み降ろす際にもとても便利です。



格納時にはフラットフロア、低い開口部地上高を実現。

シートを格納させるメカニズムを小型化し、ラクに乗り降りできる開口部地上高、フラットなフロアを実現しています。また、左側席のシートバックには、汚れた際にお手入れしやすいように、脱着式のマットを備えています。



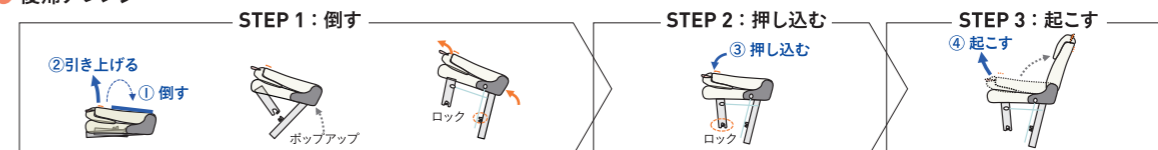
シートの格納も、立ち上げも、室内外から簡単に。

ベルトを軽く引きながら、格納は2ステップ、立ち上げは3ステップの簡単操作。女性でも軽々操作することができます。

● 格納アレンジ



● 復帰アレンジ



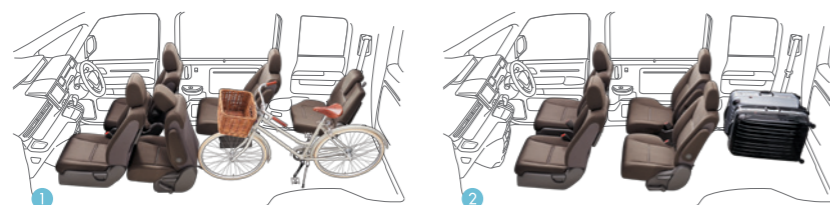
ロングスライドにより、2列目の使い勝手も向上。

2列目シートには、ロングスライド機構を採用。2列目シートを前方にスライドさせることで、3列目への乗り降りがよりスムーズに。また2列目シートの背もたれを倒せば、荷室空間が長くなり、26インチ自転車をそのまま積み込むこともできます。

シートアレンジもさらに多彩に、フレキシブルに。

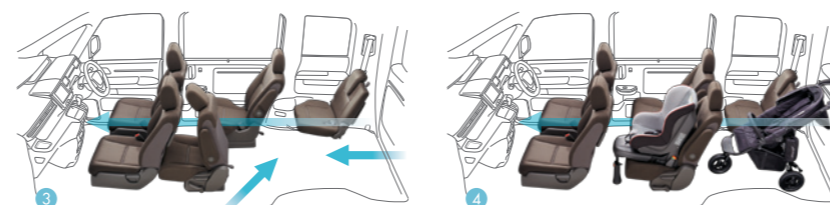
● LUGGAGE MODE 3列目シートを格納すれば、床がフラットな荷室スペースに。

- 1 2列目の片方のシートを前にスライドすれば、自転車もそのまま積めます。
- 2 4人乗っても、3列目シートを格納して大容量のラゲッジスペースに。



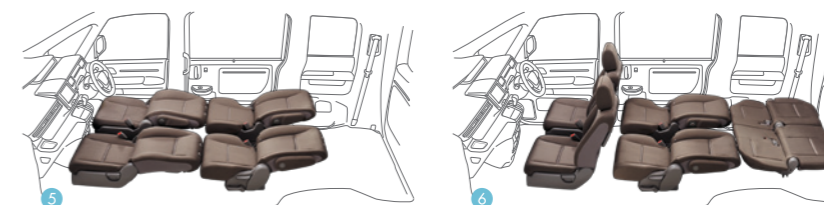
● ACCESS MODE 3列目から1列目まで、簡単にウォークスルー。

- 3 後ろのドアからもスライドドアからも、全方向から乗り降り可能。
- 4 2列目にチャイルドシート、3列目にベビーカーがあっても、ウォークスルー。



● RELAX MODE ひと休みしたい時には、リラックススペースにも。

- 5 1列目・2列目シートをサッと倒してリラックスタイム。
- 6 2列目・3列目シートをアレンジ。寝転がってくつろげます。





ファミリーミニバンにベストなエンジンを。 Hondaの答えは、 新開発VTEC TURBO。

クラストップの低燃費であること。
市街地で扱いやすく、スムーズな走りを実感できること。
多人数で乗っても、坂道でも、余裕の加速とゆたかなトルクを発揮できること。
そうした課題にHondaは、ダウンサイジングターボという道を選択しました。
新開発VTEC TURBOエンジン。
これがミニバンに求められる性能を、最も引き出せるエンジンであるとの確信をもって。
低燃費はもちろん、その力強さ、気持ちよさで、ファミリーミニバンの走りを変えていきます。

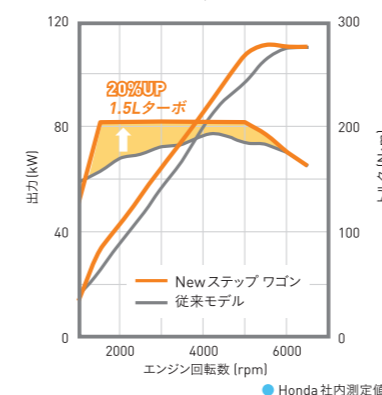


■ 1.5Lエンジンで、低燃費と2.4Lエンジン並みのトルク※1を両立。

Hondaが2013年に“EARTH DREAMS TECHNOLOGY”のひとつとして発表した直噴ガソリンターボエンジン“VTEC TURBO”。この独自技術をベースに新開発したのが、VTEC TURBOエンジンです。直噴システムや小径タービン、デュアルVTC等を採用することで、低回転域からゆたかなトルクを発生させるターボエンジンの強みを最大限に活用。さらに効率のよい燃焼を維持し続けることで、クラストップ※2の低燃費を実現しながら、多人数乗車時でもストレスの少ない、力強い走りをもたらしています。



※1 Hondaの2.4L車との低回転時(1,600rpm)での比較。
※2 G (FF)、B (FF)。全高1,800mm以上、7/8人乗りミニバン。(2015年3月現在Honda調べ)



最高出力
110 kW(150PS)/5,500rpm
最大トルク
203 N·m(20.7kgf·m)/1,600-5,000rpm
JC08モード 走行燃料消費率(国土交通省審査値)
17.0 km/L G, B(FF)

燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

【低燃費 & 高トルクを生み出す具体化技術】

■ 直噴システム

直噴システムは、燃料を直接シリンダー内に噴射し気化させるので、燃焼室内の温度が下がり、ノッキングを起りにくくします。これにより燃焼の安定が図れるため、デュアルVTCによるバルブオーバーラップ制御の自由度が増し、走行状況に応じた最適なバルブ制御に貢献します。



直噴システムイメージ図

■ 電動ウェイトゲート付ターボチャージャー

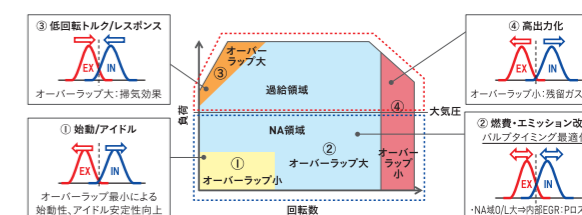
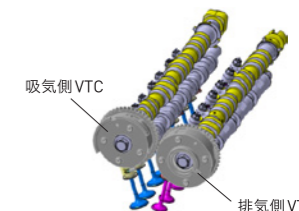
過給機の選定については、タービンの回転部分が小さく、エンジン回転の変化に対して応答性に優れた小径タービンを採用。エンジン回転が低く、排気流量が少ない時でもタービンを駆動させることができるので、低回転域からの過給も可能です。またターボの過給圧を任意の設定に調整できるよう、ウェイトゲートを電動制御化。これにより、過給領域での排気口を低減することで、低燃費に寄与しています。



電動ウェイトゲート付ターボチャージャー

■ 吸排気デュアルVTCによるバルブオーバーラップ制御

これまで吸気側のみ採用してきたVTC(バルブタイミングコントロール)を、吸気・排気の両側に採用。バルブのオーバーラップ量を拡大することでポンピングロスを低減し、燃費を向上させています。また、走行状況に応じてオーバーラップ量を最適制御。加速初期など、エンジン回転数が低く、負荷の大きい領域ではオーバーラップ量を大きくし、掃気効果を高めることでトルクとレスポンスの向上を図ります。全開加速時など高回転域で負荷も大きい領域では、オーバーラップ量を小さくして、吸気と掃気の両方を向上させて出力を高めます。



■ さらに、エンジン振動の伝達を抑制し、静粛性も向上。

エンジンの燃焼圧力は、そのまま振動に反映されます。ターボエンジンの場合、状況により自然吸気燃焼と過給燃焼を使い分けるため、燃焼圧力の起伏が激しく、ノイズや振動の抑制は大きな

課題でした。そのため、振動の伝達の源流であるクランク、クランクシャフトを支えるベアリングキャップの剛性を向上。さらに、ポンプカバーなどの放射音の低減も図っています。



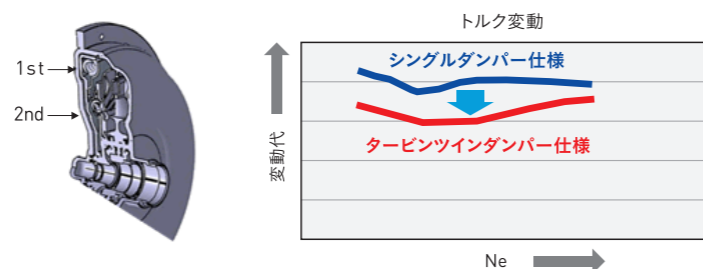
ターボエンジンに合わせ、CVTを開発。 燃費と走りの高次元バランスを追求しました。

VTEC TURBOエンジンのポテンシャルを最大限に引き出す、CVTを開発しました。効率を徹底することで燃費性能の向上を図るとともに、きめ細かなセッティングを施し、街なかでのスムーズな走りを実現しています。



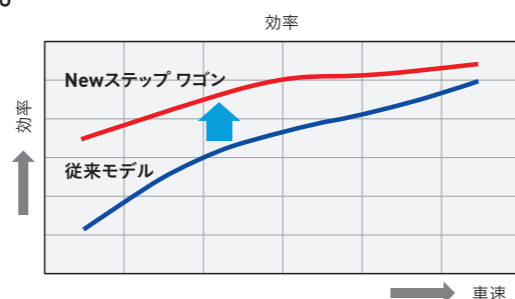
■ VTEC TURBOエンジンに合わせ最適化。

ダウンサイジングターボの場合、発進加速時のトルクが小さく、ターボ効果が出にくい傾向があります。そこで、トルクコンバータ特性を最適化し、ターボラグを感じさせない、スムーズな発進・加速を実現しています。また、低回転時のノイズや振動を解消するため、トルクコンバータに内蔵されているロックアップダンパーを改良。従来1セットであったダンパーを、内周側と外周側に2セット配置するタービンツインダンパーを採用し、低中速領域での優れたNV性能を獲得しながら、低回転時の高トルク化を実現しています。



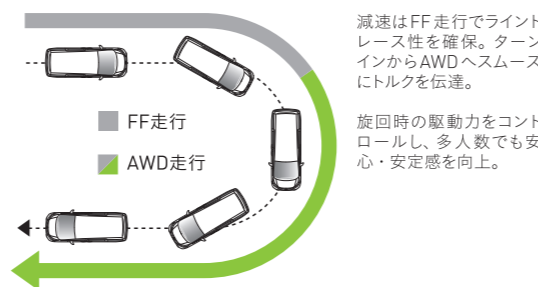
■ フリクション低減を軸に、効率を高め、燃費向上へ。

燃費の向上に向けては、前進時には作動していないリバースクラッチの引きずり抵抗を低減し、伝達効率を高めました。またトランスミッションケースの形状を変更し、オイルの攪拌抵抗を低減。さらに、CVT制御油圧の最適化により、低速域から中高速域におけるエンジン負荷を軽減し、効率の向上を図りました。その結果、従来モデルより40~100km/hで3%以上の効率向上を達成しています。



■ 4WD車には、リアルタイムAWD (インテリジェント・コントロール・システム)を専用セッティング。

各種センサーが走行状況を検知して、駆動力配分を電子制御で行う、リアルタイムAWD (インテリジェント・コントロール・システム)。ステップワゴンではファミリーミニバンに最適なセッティングを施し、不要なトルクをカットするとともに、軽量化と低燃費を実現。また、クルマの狙いに合わせたセッティングが可能な電子制御の特性を活かし、安心感と安定感の向上、とりわけ雪道での交差点発進や、登坂、旋回、ライントレースを自然なフィーリングで、不安なく行えるよう制御させています。



扱いやすさと、安心・快適な 乗り味を求めたシャシー。

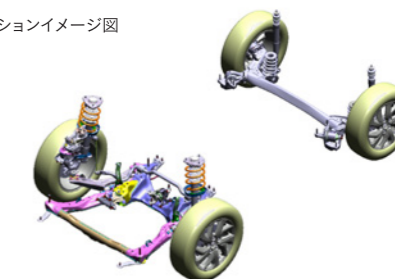
めざしたのは、クルマの大きさを感じさせない扱いやすいハンドリングと、全員が安心・快適でリラックスできる乗り味。これらを実現するため、幾度となく過酷なテストコースでの走行を重ね、操縦安定性と乗り心地の高次元での両立を実現しました。



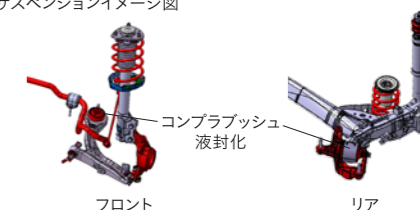
■ セダンのように自然なロールフィールと、乗り心地向上をめざしたサスペンション。

- フロントのロールセンター高を低く、リアを高く設定。これにより、フロントを沈み込ませた前下がりの状態にすることで、しっかりと踏ん張る安心のロールフィールを実現しています。
- リアトレッドを25mm拡大し、リアタイヤの接地性を高めました。また、サスペンション入力の取れん性を向上させる、セッティングを図りました。
- リアコンプラッシュの最適配置により、旋回時の安定性を高めています。
- ボディとともにサスペンションの剛性も高めることで、高速走行でもふらつきの少ない、しっかりした足まわりに仕上がっています。
- フロントとリアのパンプストラップラバーをウレタン化し、段差を乗り越える際のショックを低減しています。
- 操縦安定性を損なうことなく乗り心地を向上する、入力分離方式のダンパーをリアに採用。
- 取れん性に優れた液封タイプのコンプラッシュを、前後とも採用しました。

■ サスペンションイメージ図



■ サスペンションイメージ図



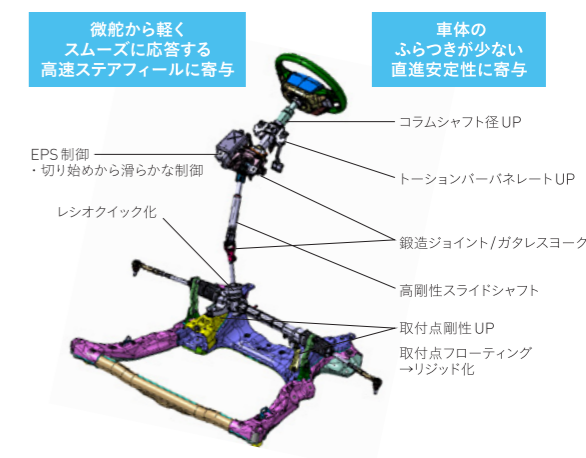
■ SPADA専用サスペンションを開発。

SPADAには専用の高剛性ハブベアリングを採用し、専用のダンパーセッティングを施しました。これによりタイヤの接点剛性を高め、乗り心地を犠牲にすることなく、より高い一体感としっかり感のある走りを実現しています。

■ 軽くスムーズな操舵性とリニアな応答性を追求したステアリング。

めざした操舵性と応答性を実現するために、コラムシャフトの大径化をはじめ、ねじれを抑えるトーショウバーのバネレート向上、高剛性の鍛造ジョイントの採用など、ステアリング剛性の向上とステアリング取り付け点剛性の向上を徹底。その上で、アシストトルクをより高精度かつ自在にコントロールする新しい制御ロジック「角速度フィードバック制御」を取り入れ、切り始めから滑らかな操舵フィールと旋回性、直進安定性を実現しています。

■ ステアリングイメージ図



■ コントロール性に優れ、 多人数乗車でもしっかり効くブレーキ。

踏んだだけで制動力が増すリニアなブレーキフィールが、操る楽しさと、安全・安心をもたらす。という考えのもと、ブレーキマスターパワーを最適化し、低速から高速まで安心感のあるブレーキフィールを実現しています。

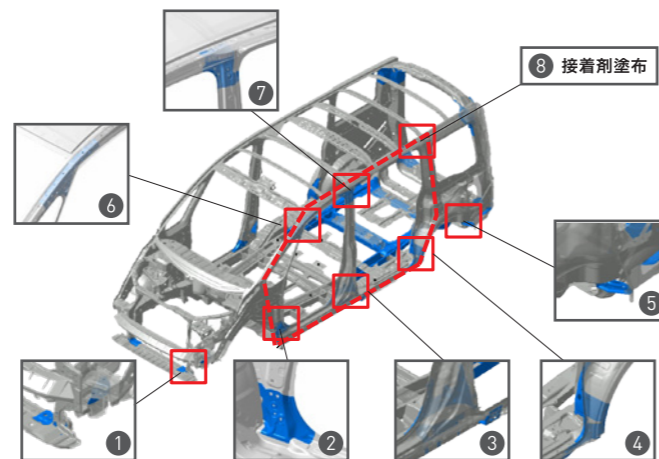
しなやかで快適な乗り心地を支える、ボディ剛性を徹底追求しました。

全高は高く、フロントガラスは大きく、「わくわくゲート」も。ボディの剛性面で不利な要素が多いなかで、結合構造の最適化などの工夫を凝らし、ボディの高剛性化を実現しています。その上で、低燃費の達成に不可欠な軽量化、空力性能や静粛性の向上も追求しています。

■ コーナーの補強で、強固なボックス構造に。

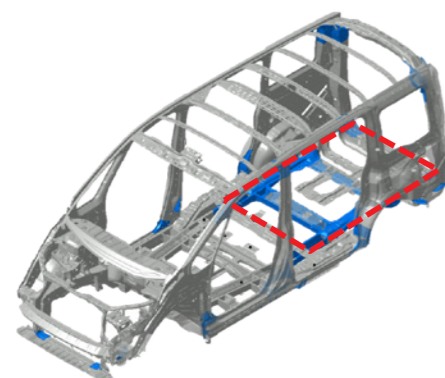
CAE 技術によって最適な形状や板厚を導き出し、それに基づきメイン部材のコーナーを補強。静曲げ剛性 8%、静ねじれ剛性 25% の向上を果たしています。

- ① フロントバルクヘッドコーナーを補強
- ② フロントピラー下端とサイドシルの結合部にスティフナー追加 & ボルトで締結
- ③ センターピラー下端とサイドシル結合部のガセットを厚板化
- ④ リアクォーターピラー下端とリアホイールハウス前端接合部のパッチを厚板化
- ⑤ リアホイールハウス後端とボディアウターパネル接合部に、プレースを追加
- ⑥ フロントピラー上端とルーフアーチ接合部のスティフナーを厚板化
- ⑦ センターピラー上端とルーフアーチ接合部のパッチを厚板化
- ⑧ リアクォーターピラー上端とルーフアーチ接合部に接着剤塗布



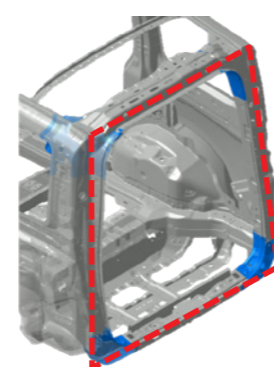
■ リアフロア井桁構造強化。

旋回時のリアタイヤからの入力により、サスペンションの取り付け点となる井桁構造部分が弱いとねじれを生じ、リアタイヤが踏ん張ることができません。それがリアの追随性の遅れの最大の要因となります。そこで井桁構造部分を厚板化して剛性を強化。これにより、旋回時の安定性や高速走行時の直進安定性を獲得しています。



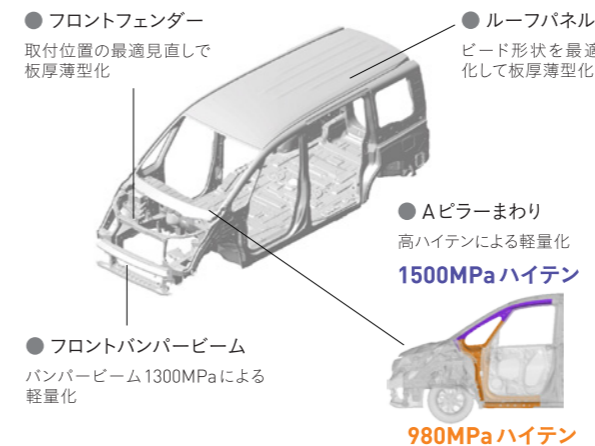
■ テールゲート開口部剛性の向上。

大開口のテールゲートに対しても、コーナーを固めるという考え方で臨みました。リアフロアフレームを大断面化した上で、フレーム上部に大断面のリアパネルを結合。さらに、テールゲート上部のコーナーもパッチを厚板化するなど、しっかりとした四隅で環状骨格を形成することで優れた剛性を実現しています。



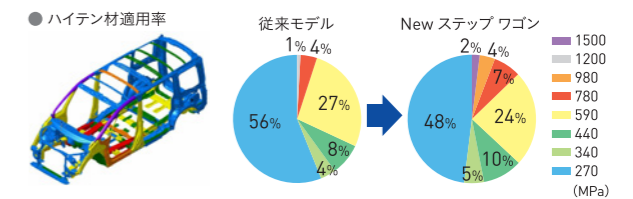
■ 細部にわたり軽量化を徹底。

コーナーの結合効率向上など、構造上の工夫が軽量化にはもっとも寄与しています。これらに加え、面積の大きなルーフパネルなどの板厚の最適化といった軽量化のための工夫を、細部まで施しています。



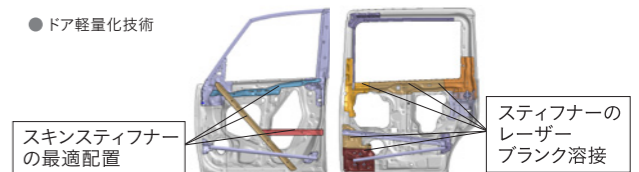
■ ハイテン材の適用を拡大。

軽量な高張力鋼、ハイテン材の適用率を52%に拡大しています。



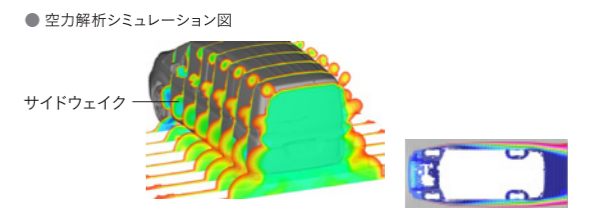
■ ドアの軽量化もプラス。

フロントドアは、ドアスキンのスティフナー配置と板厚を最適化。リアスライドドアも、レーザーブランク溶接により、板厚の細かな設定が可能となり、軽量化を果たしています。



■ 全高をアップしながらもクラストップレベルの空力性能を。

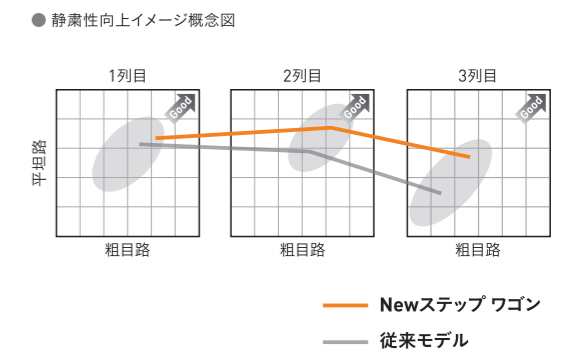
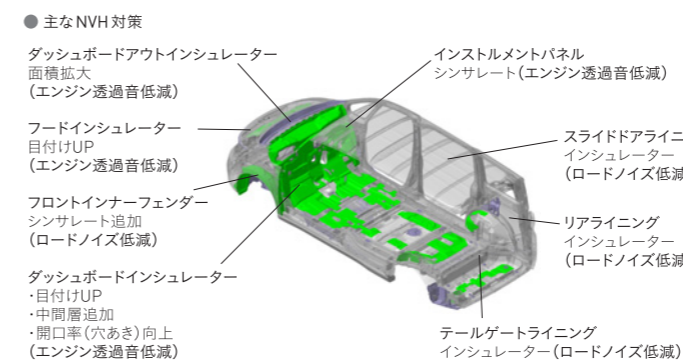
空力性能の向上においては、ボックス形状のクルマが影響を受けやすい圧力抵抗の低減を徹底追求しました。そこで、抵抗影響が多い、タイヤ、サイド、リアの空気の塊=ウェイクに着目。車体を輪切り状にした断面でそれぞれの部位のウェイクを詳細に解析し、各部位の形状最適化により、効率的に空力性能を向上しています。また、ボディ下面でも空力性能向上のため、フロントスポイラーの延長をはじめエンジンアンダーカバーの最適化を行いました。



■ 1列目と3列目で会話ができる静かさをめざして。

● 乗り込みから走行中まで会話が弾む空間へ。室内各部の防音処理やエンジンルームからの透過音の低減などにより、静粛性を向上。また、新開発ターボエンジンの搭載によりエンジンの回転数を低く抑えられることも、会話のしやすい室内空間に寄与しています。

● タイヤ、エンジンノイズなどの低減を図る防音対策。室内各部に配置した防音、遮音材などにより、エンジンルームからの透過音を低減するとともに、2、3列目シートの遮音性能を向上。全席で会話のしやすい室内空間を実現しています。





安心で快適な運転を支援する「Honda SENSING」を、ファミリーミニバンへ。

メーカーオプション

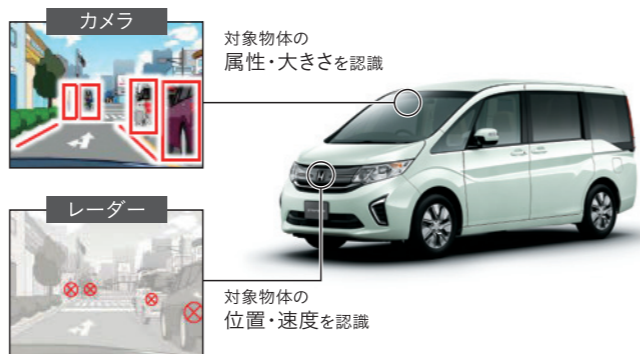
Hondaは“Safety for Everyone”をスローガンに、クルマやバイクに乗っている人だけでなく、道を使う人だれもが安心でいられる「事故に遭わない社会」の実現をめざしています。その思想のもと、リアルワールドでの実態を見据えた安全を追求し、万一の際の衝突安全から事故を未然に防ぐ予防安全、その中間に位置するプリクラッシュセーフティまで、すべての段階での安全技術を開発してきました。そして培った外界検知技術をベースに、これまで検知が難しいとされてきた歩行者まで検知対象を拡大し、安心で快適な運転を支援する「Honda SENSING」を開発。その先進の装備を、New ステップワゴンにも搭載しました。



ミリ波レーダーと単眼カメラによる、精度の高い検知能力で安全運転を支援する「Honda SENSING」。

特性の異なる2種類のセンサーで構成された「Honda SENSING」。ミリ波レーダーで対象の位置や速度を検知し、単眼カメラで対象の大きさや形状を識別。より精度の高い認識を可能にしています。周囲の状況に加えて、ドライバーの意思と車両の状態を認識し、ブレーキやステアリングなどを協調制御。速度と進路の双方において、通常走行時から緊急時のリスク回避までの運転を支援します。遠くまで対象の位置・速度の測定に強いミリ波レーダーと、対象の形や大きさの識別に強い単眼カメラ。2つを融合した高精度な検知機能でクルマの前方の状況を確認し、ブレーキやステアリングの制御技術と協調し、安心・快適な運転や事故回避を支援します。

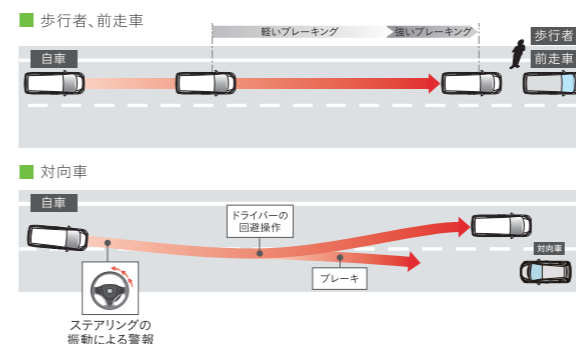
システム構成図



■ 家族のドライブに大きな安心をもたらす「Honda SENSING」の機能。

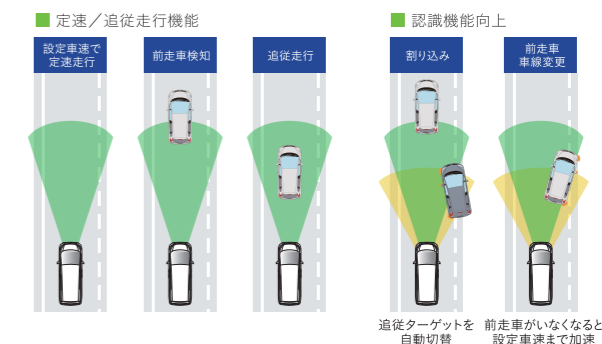
■ 衝突軽減ブレーキ(CMBS)

車両や歩行者を検知し、衝突の危険がある場合に表示や音によって警告。緊急時には、ブレーキを自動作動して衝突回避・被害軽減を図ります。



■ ACC(アダプティブ・クルーズ・コントロール)

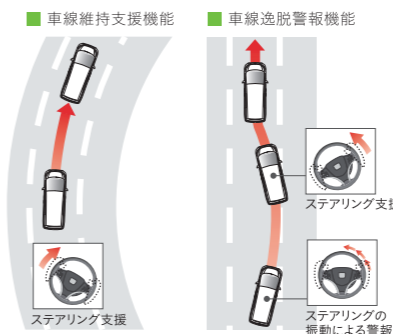
アクセルペダルを踏まずに設定した車速を保つクルーズコントロールに、前走車を検知し、加減速を制御する機能を追加。高速道路などで車速と車間を適切に保ちます。



■ LKAS*(車線維持支援システム)

車両が車線の中央に沿って走行できるように、高速道路などでのステアリング操作を支援し、運転負荷軽減を図ります。

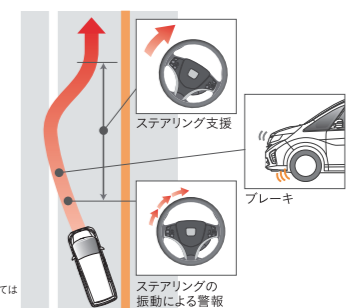
※ Lane Keep Assist System



■ 路外逸脱抑制機能

車両が車線を外れそうな場合に、ステアリング振動と表示で警告し、車線内へ戻すようにステアリングを制御します。逸脱量が大きいと予測された場合は、ブレーキも併用して逸脱しないように支援します。

※ 走行状態や路面状況などによっては抑制できない場合があります。



■ 誤発進抑制機能

停車時や約10km/h以下で走行している時、前方に障害物があるにも関わらず、アクセルペダルを踏み込んだ場合の、急加速を抑制するとともに、音と表示で注意を促します。



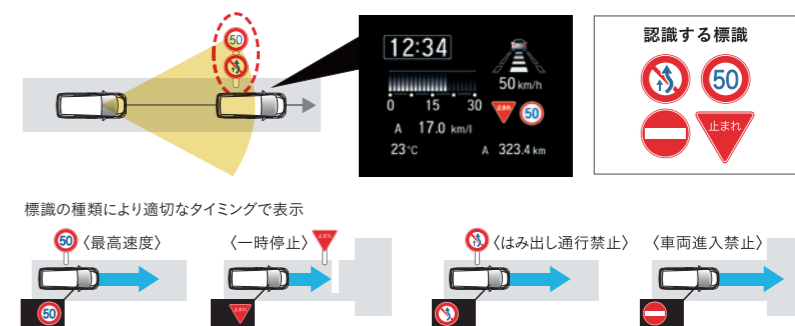
■ 先行車発進お知らせ機能

停車時に前方の車両の発進をミリ波レーダーが検知。前方の車両の発進を表示と音で知らせます。



■ 標識認識機能

単眼カメラで道路標識を認識。メーターに表示することで、標識への注意を促し、安全運転を支援します。





より多くの人にゆとりと安心をもたらすために、さらなる性能向上をめざしています。

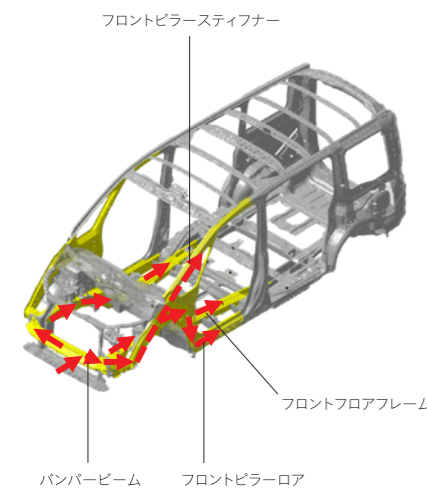
乗員はもとより、相手車両や歩行者まで配慮したボディ。

Hondaは、リアルワールドでの安全を見据えた衝突安全性能を徹底追求しています。Newステップワゴンでは、Honda独自のGコントロール技術により、「自己保護性能の向上」と「相手車両への攻撃性低減」を両立するコンパティビリティ対応ボディを採用。また万一の際に、歩行者にダメージを与えやすいボディ前部を衝撃をやわらげる構造とした歩行者傷害軽減ボディとしています。



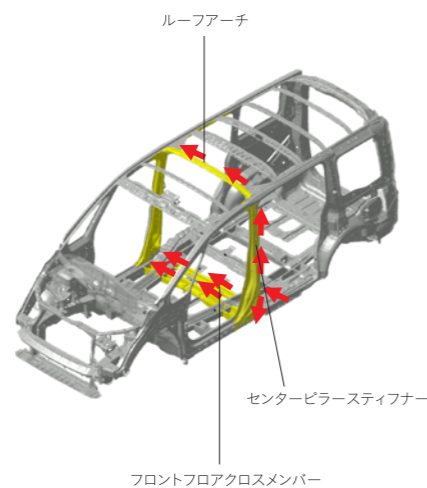
● フロントロードパス構造

前面衝突に対しては、エンジンルームの40mm短縮にともない、フロントサブフレーム、アッパーメンバーとロアメンバー、それぞれの荷重をアップ。短いストロークで、衝突エネルギーを効果的に分散できる構造としました。



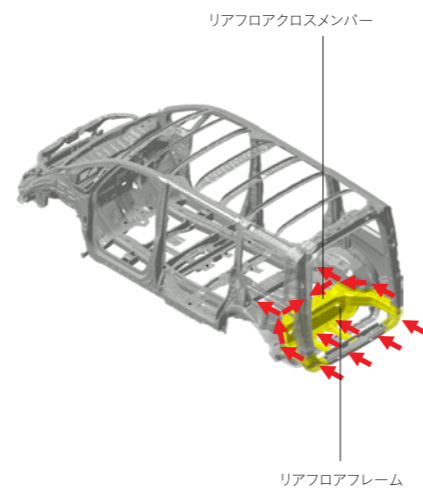
● サイドロードパス構造

側面衝突に対しては、センターピラー、フロアクロスメンバー、ルーファーチに超ハイテン材を採用。強固な環状骨格とすることで、効果的な衝突エネルギー吸収を可能にしました。



● リアロードパス構造

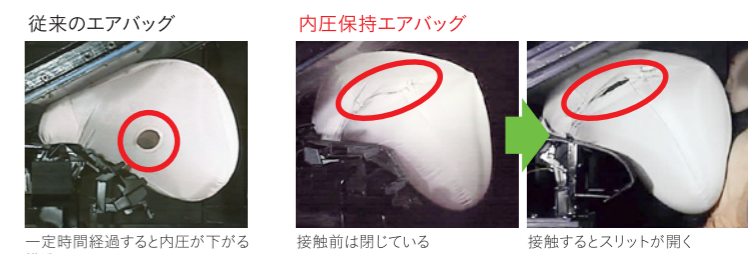
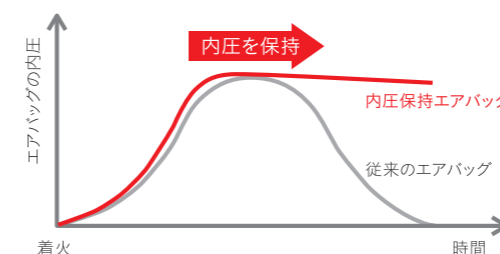
後面衝突の際のエネルギーは、主に両サイドのリアフロアフレームに入力させ、その荷重を横方向のリアフロアクロスメンバーで受けとめることで、変形を抑制しています。また、今回追加したリアセンターフレームも衝突エネルギー吸収に寄与しています。



■ 助手席用i-SRSエアバッグシステム

万一の衝突時に乗員の傷害を軽減する安全装備を充実して採用しました。なかでも助手席用エアバッグには、従来に対してバッグ内圧保持性能を高めたi-SRSエアバッグシステムを新たに採用しました。エアバッグは、乗員の着座位置、衝突の速度や形態(フルラップやオフセット等)、衝撃の大きさなどによって、望まし

い展開タイミングが異なります。内圧保持エアバッグは、乗員がエアバッグに接触するまでバッグ内圧を保持する構造を採用することで、高速衝突に対応する早期展開を実現しながら、中速衝突にも対応する乗員保護性能を両立させました。



【その他の安全装備】

■ VSA (ABS+TCS+横すべり抑制)

ブレーキ時の車輪ロックを防ぐEBD付ABS、加速時などの車輪空転を抑えるTCS、旋回時の横すべり抑制。これら3つの機能を制御し、クルマの姿勢の安定化を図るVSAを全タイプに標準装備。



■ エマージェンシーストップシグナル

走行中に急ブレーキと判断すると、ブレーキランプの点灯に加えて、ハザードランプが自動で高速点滅し後続車に注意を促す、エマージェンシーストップシグナルを全タイプに標準装備。



■ ヒルスタートアシスト

坂道発進時、ブレーキからアクセルペダルを踏み替える瞬間のクルマの後退を約1秒間抑制するヒルスタートアシスト機能を全タイプに標準装備。



■ LEDヘッドライト タイプ別設定

ロービームには、より明るく遠くまで照らし、省電力を実現するLEDを採用しました。点灯忘れも防止できるオートライトコントロール機構付です。



■ 汎用型ISOFIXチャイルドシートロアアンカレッジ+トップテザーアンカレッジ

装着が容易。万一の衝突時、チャイルドシートの前方への移動を効果的に抑えます。

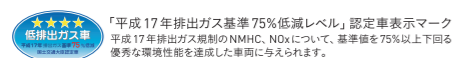


■ 「早く」「優しく」「長く」膨らむ、独自のエアバッグ。

運転席用i-SRSエアバッグシステム(連続容量変化タイプ)&助手席用i-SRSエアバッグシステム(内圧保持式)を標準装備のほか、1列目シート用i-サイドエアバッグシステム(容量変化タイプ)、1~3列目をカバーするサイドカーテンエアバッグシステムをタイプ別設定としています。



■ 全タイプ、国土交通省「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定を取得。



「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定車表示マーク
平成17年排出ガス規制のNMHC、NOxについて、基準値を75%以上下回る優秀な環境性能を達成した車両に与えられます。

■ クルマ全体でリサイクル可能率90%以上*を実現。

*「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年自工会)」に基づき算出。

■ 日本自動車工業会が定める環境負荷4物質自主削減目標を達成。

鉛：2006年1月以降 1996年レベルの1/10以下に削減
水銀：2005年1月以降 使用全廃
六価クロム：2008年1月以降 使用全廃
カドミウム：2007年1月以降 使用全廃

■ リサイクル材の使用を推進。

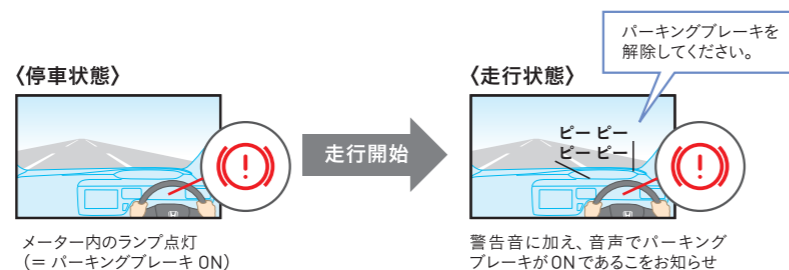


乗る人にやさしい、楽しい、それがステップワゴンの先進装備です。

ステップワゴンは、幅広い層の、たくさんの人に乘っていただきたいクルマです。平日と週末では、ドライバーが夫婦入れ替わるケースも多いことでしょう。だからこそ、毎日乗られる人はもちろん、あまり運転が得意ではないという人にも、安心をお届けしたい。2列目、3列目席の人も、楽しみを分かち合ってほしい。そんな思いで、お出かけをサポートする装備をご用意しました。人にやさしい先進をステップワゴンはつねにめざしています。

■ メーター表示、警告音に加え、音声でお知らせする、Honda初の音声ガイダンス。

音声ICの採用により、ワーニング時などに何が発生しているのか、それにどう対処すればいいのかを、音声で伝えます。表示と警告音によるアラームでは伝えきれなかった具体的な情報を提供することで、ドライバーにより迅速で適切な対応を促します。例えばパーキングブレーキをかけたまま発進した際は、「パーキングブレーキを解除してください」という音声メッセージで注意を促します。



■ 前輪のおおよその向きがわかると安心して、Honda初のタイヤ角度モニター。 メーカーオプション

バックしている時に前輪の向きがわかりづらくなった。イグニッションONで発進する時に、前輪が切られた状態にある。そんな時に、ハンドルの回転角度からタイヤの切れ角を検知し、マルチインフォメーション・ディスプレイにタイヤの向きを7段階で表示。クルマから降りたり、クルマを動かすことなくクルマの進行方向をドライバーに知らせ、運転をサポートします。



● バック駐車時

スペースにゆとりがない駐車場などで切り返し中に、前輪の向きがわからなくなる、という運転があまり得意ではないドライバーの声をしばしば耳にします。そうしたシーンで、前輪のおおよその向きを表示し、左右いずれかに曲がっていれば、修正を促します。

● 最初の発進時

駐・停車後、イグニッションをONにして発進する際にタイヤが曲がっている場合、前輪のおおよその向きを表示します。前輪が曲がっていることに気づかず、直進のつもりで発進してしまいそうな時に注意を促します。前輪の向きが中立位置にある場合は、表示しません。

● (前輪の向きから) 意識がそれた時

ゲート式のコインパーキングなどから出庫する際に、料金精算しているうちに前輪が曲がっていることを忘れ、発進してしまいそうなケース。前輪のおおよその向きを表示し、ドライバーに注意を促します。この場合も、前輪の向きが中立位置にある場合は、表示しません。

- シフトポジションをRにすることで自動表示。表示は、前進の意志が明白な15km/hに達した時点で終了します。
- タイヤ角度モニターは、「Honda SENSING」装着の「マルチインフォメーション・ディスプレイ」装着車であれば適用可能となります。ナビゲーションシステム装着の必要はありません。

■ 目的地までの移動を、より快適に、楽しくする。Honda インターナビ+リンクアップフリー+ETC車載器(ナビゲーション連動)

タイプ別メーカーオプション

インテリアデザインとの調和を考え、Honda初となる3次元曲面の静電式タッチパネルを採用。スマートフォン感覚で、直感操作することができます。インターナビ・リンク プレミアムクラブのリンクアップフリー (専用通信機器+通信費無料) に対応し、費用を気にせず多彩な情報サービスをフル活用できます。フルセグ対応により高画質な地上デジタルテレビ放送を楽しめるほか、3ビュー切り替え式のリアワイドカメラやETC車載器も標準装備しています。



基本性能

- 高精細7インチワイドディスプレイ
- リアワイドカメラ(3ビュー切り替え式)
- ETC車載器(ナビゲーション連動)
- Bluetooth®対応
- ハンズフリーレホン機能
- ナビ・オーディオリモートコントロール+音声認識

ナビゲーション機能

- インターナビ・ルート
- リンクアップフリー
- VICS FM多重レシーバー
- 3Dマップ/リアル高速入口拡大図
- 燃費情報表示機能
- インターナビ 警告灯サポート
- 安全運転コーチング
- Turn by Turn 表示*

オーディオ&ビジュアル機能

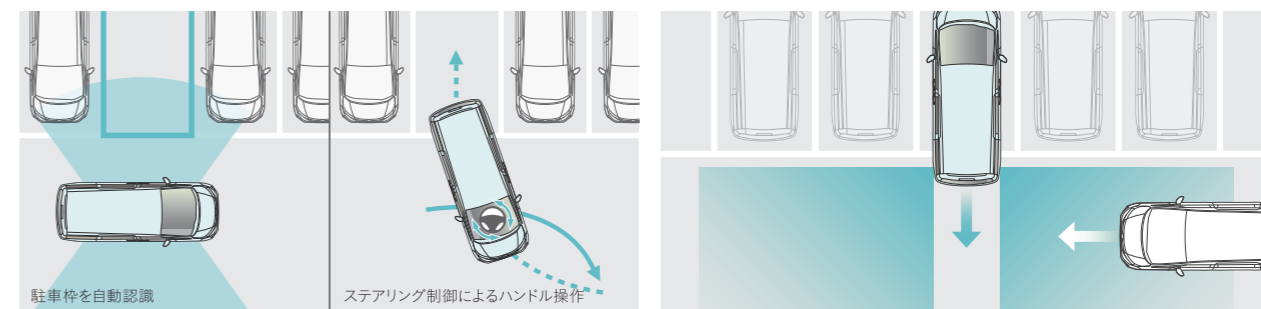
- TV(12セグ/ワンセグ)
- DVD/CDプレーヤー
- AM/FMチューナー
- 6スピーカー(40W×4chアンプ)
- HDMI®入力端子
- USBジャック(2カ所)
- Bluetooth®対応

* 走行中は、一部制限される機能がございます。操作可能な機能も、安全に注意してご使用ください。
※ メーカーオプションの「Honda SENSING」装着車に装備されます。

■ 多彩な視界で走行と駐車を支援する、マルチビューカメラシステム。

タイプ別メーカーオプション Honda インターナビ装着車

マルチビューカメラシステムは、クルマの構造上、ドライバーが目で確認できない場所を映し出し、安全運転・安心駐車をサポートするシステムです。フロント、リア、左右ドアミラー下に設置した4つの魚眼カメラから得た情報をコンピューターが解析。クルマをまるで上空から見下ろしたように路面に映し出す「グラウンドビュー」をはじめ、状況に応じた視界をディスプレイに表示します。また、マルチビューカメラシステム装着車は、Hondaスマートパーキングアシストシステムと後退出庫サポートを装備。駐車時や出庫の際に、安心感をもたらします。



■ バック駐車時



■ 後退出庫時





家族のクルマだからこそ、 みんなで出かける喜びを大切に考え、 充実の福祉車両をラインアップしました。

私たちHondaは、Fun for Everyone. ～移動の喜びを一人ひとりに～
という想いのもと、さまざまな福祉車両の開発に取り組んできました。
Newステップ ワゴンでは、これからの主流となる3世代家族を考え、
ご高齢の方も、障害のある方も、いっしょに楽しく快適に出かけられるように。
介護される方はもちろん、介助の方も、使い勝手よくラクできるように。
多彩な福祉車両をラインアップしました。
車いす仕様車においては、車いす2台乗車を実現。
ベースモデルと変わらぬ外観デザインでありながら、
室内空間にきめ細かな配慮を施し、快適性と安心感の向上も図りました。

■ シートが電動で回転して昇降する、リフトアップシート車。

車いすや杖を利用する等、通常のシートでは乗り降りが大変という方の
負担を軽減します。またサイドリフトアップシート車は、シートの両側から
乗降をサポートすることができるので、介護の方の負担も軽減します。



■ サイドリフトアップシート車



■ 助手席リフトアップシート車

■ 出かける喜びを広げる、3タイプの車いす仕様車。(2015年夏発売予定)

車いすのまま3列目に乗車し、そのとなりの席に介護する方が座れるタイプをはじめ、2列目に車いすが乗車できるタイプ、そして2列目と3列目に車いすの方が2名乗車できるタイプをご用意。全列ゆとりのパッケージと「わくわくゲート」が、車いす仕様車の可能性も広げました。



主要装備

● は標準装備 ○ はメーカーオプション(ご注文時にお申し付けください)

	タイプ 駆動方式	SPADA・Cool Spirit		SPADA		G・EX		G		B	
		FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD
安全装備/運転支援機能	マルチリフレクターハロゲンヘッドライト (マニュアルレベリング機構付)					●		●		●	
	LEDヘッドライト (ロービーム、オートレベリング/オートライトコントロール機構付)	●		●		○		○			
	アクティブコーナリングライト	●		●							
	1列目シートi-サイドエアバッグシステム+ サイドカーテンエアバッグシステム(1~3列目シート対応)	●		●		○※1		○※1		○※1	
	Honda SENSING (衝突軽減ブレーキ(CMBS)、ACC(アダプティブ・クルーズ・コントロール)、LKAS(車線維持支援システム)、路外逸脱抑制機能、誤発進抑制機能、先行車発進お知らせ機能、標識認識機能)※2※3	○		○		○		○		○	
	LEDハイマウント・ストップランプ	● スモークタイプ		● スモークタイプ		●		●		●	
	セキュリティアラーム(国土交通省認可品)	●		●		●		●			
	フォグライト	●		●							
	クルーズコントロール※2	●		●		●		●			
	ダブルホーン	●		●							
【全タイプ標準装備】●運転席/助手席i-SRSエアバッグシステム ●VSA(機能詳細→P27) ●ヒルスタートアシスト機能 ●EBD(電子制御制動力配分システム)付ABS ●エマージェンシーストップシグナル ●1列目シート3点式ロードリミッター付プリテンショナーELRシートベルト+運転席ラッププリテンショナー ●1列目シート・アジャスタブル・シートベルトショルダーアンカー ●2列目シート3点式ロードリミッター付ELRシートベルト(左右席) ●3列目シート3点式ELRシートベルト(全席) ●汎用型ISOFIXチャイルドシートロアアンカレッジ(2列目左右席)+トップテザーアンカレッジ(2列目左右席) ●エコアシスト(ECONモード、コーテイング機能) ●アイドリングストップシステム(オフスイッチ付) ●イモビライザー(国土交通省認可品)											
快適装備/メーター	Honda インターナビリンクアップフリー+ ETC車載器 機能詳細→P28	○※4		○※4		○※4		○※4			
	マルチビューカメラシステム										
	Hondaスマートパーキングアシストシステム	○※5		○※5		○※5		○※5			
	後退出庫サポート										
	リアエンターテインメントシステム (9インチワイドVGAディスプレイ)	○		○		○		○			
	ナビ装着用スペシャルパッケージ 機能詳細→P28	○※4		○※4		○※4		○※4		○※4	
	スピーカー数	4 ※4		4 ※4		4 ※4		4 ※4		2 ※4	
	アクセサリソケット(DC12V)	フロント×1個、リア×1個		フロント×1個、リア×1個		フロント×1個、リア×1個		フロント×1個、リア×1個		フロント×1個	
	運転席&助手席シートヒーター	●		●		●		●			
	トリプルゾーンコントロール・フルオートエアコンディショナー	● プラズマクラスター技術搭載		● プラズマクラスター技術搭載		● プラズマクラスター技術搭載		● プラズマクラスター技術搭載		●	
	フロント・フルオートエアコンディショナー+リア・マニュアルクーラー		● プラズマクラスター技術搭載			● プラズマクラスター技術搭載				●	
	サイドビューサポートミラー(助手席側)	●※5		●※5		●※5		●※5		●	
	パワースライドドア (イージーオープンドアハンドル/ タッチセンサー/挟み込み防止機構付)	リア左側	●		●		●		●		○※6※7
		リア右側	○		○		○		○		
	スライドドア・イージークローザー(リア両側)	●		●		●		●		○※6	
キーレスエントリー 一体型キー(1個付)										●	
Hondaスマートキーシステム(キー2個付)※8 & プッシュエンジンスタート/ストップスイッチ	●		●		●		●				
マルチインフォメーション・ディスプレイ (タイヤ角度モニター、経過時間/平均車速 表示機能など)※3	○		○		○		○		○		
【全タイプ標準装備】●ワンタッチウインカー ●電波式キーレスエントリーシステム(アンサーバック/ウエルカムランプ機能付)※8 ●テレスコピック&チルトステアリング ●パワーウインドウ(運転席/挟み込み防止機構付/ワンタッチ式/助手席/スライドドア) ●リアヒーターダクト(2列目) ●アレルフリー高性能脱臭フィルター ●車速連動オートドアロック(テールゲート連動) ●インフォメーションディスプレイ(オドメーター/トリップメーター/外気温/平均燃費/瞬間燃費/推定航続可能距離/時計 表示機能付)※3 ●運転席ハイトアジャスター ●オーディオレス ●ヘッドライトオートオフ機能											
インテリア	本革巻ステアリングホイール	●		●						●	
	グラブレール	●		●		○※1		○※1		○※1	
	室内確認用ミラー付サンガラスボックス	●		●		●		●			
	コンビニフック付1列目シートアームレスト	●		●		●		●		●	
	センターテーブル(インストルメントパネル内蔵型)	●		●		●		●			
	コンビニフック付シートバックテーブル(運転席/助手席)	●		●		●		●			
シートバックアッパーポケット(運転席/助手席)	●		●		●		●				

● は標準装備 ○ はメーカーオプション(ご注文時にお申し付けください)

	タイプ 駆動方式	SPADA・Cool Spirit		SPADA		G・EX		G		B	
		FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD
インテリア	カーテシランプ(スライドドア/テールゲート(サブドア))		● LED		●		●		●		○※7
	フロントマップランプ&ルームランプ				●				●		●
	調光機能付LEDルームランプ(LEDマップランプ付/1~3列目)		● パーブリッシュホワイト				● アンバー				
	ラゲッジルームランプ		● LED(パーブリッシュホワイト)		●		●		●		●
	2列目6:4分割ベンチシート(センターアームレスト付)※9		○		○		○		○		○
	ブラック コンビシート(プライムスームス×ソフトウイープ) & 専用インテリア		●								
	アイボリー コンビシート(プライムスームス×ツイード(撥水加工)) & 専用インテリア						○				
	インパネミドルパッド		● ウェーブメタル		● クールガンメタ		● 木目調		● ウォームガンメタ		● ウォームガンメタ
	インテリアイルミネーション (フロントドアライニング、ドリンクホルダー(運転席/助手席)、 インパネトレイ(助手席側))		● バイオレット		● バイオレット		● アンバー		● アンバー		
	シルバームッキ・エアコンアウトレットノブ		●		●		●		●		
	高輝度シルバークラッシュインナードアハンドル		●		●		●		●		
	フロントドアアームレストパッド		●		●		●				
	スライドドアライニングパッド		●		●		●				
	ロールサンシェイド(スライドドア両側)		●		●		●		●		
	【全タイプ標準装備】●運転席用&助手席用パニティミラー付サンバイザー ●2列目キャプテンシート(両側アームレスト付) ●インパネアッパーボックス(2ヵ所) ●助手席シートバックポケット ●コンビニフック(2列目キャプテンシート内側アームレスト) ●防眩ルームミラー ●ドリンクホルダー(運転席側/助手席側) ●収納式ドリンクホルダー(助手席側) ●フロントドア・ボトルホルダー(両側) ●スライドドア・ボトルホルダー(両側) ●ドリンクホルダー(3列目(右側3個/左側2個)) ●大型アシストグリップ(スライドドア/テールゲート) ●3列目分割床下格納シート(マジックシート) ●大容量ラゲッジアンダースペース										
エクステリア/ガラス	わくわくゲート		●		●		●		●		
	コンフォートビューパッケージ (親水/ヒートテッドドアミラー+フロントドア撥水ガラス)		●		●		●		●		●
	熱線入りフロントウインドウ		●		●		●		●		●
	フロントウインドウガラス										●
											●
	フロントドアガラス										●
											●
	SPADA専用LEDアクセサリランプ内蔵フロントグリル		● ダーククロームメッキ		● ブラチナ調クロームメッキ						
	SPADA専用バンパー(フロント/リア)		●		●						
	SPADA専用カラードサイドシルガーニッシュ		●		●						
	SPADA専用テールゲートスポイラー (LEDハイマウント・ストップランプ内蔵)		●		●						
	アウトードアハンドル		● ダーククロームメッキ		● クロームメッキ		● カラー		● カラー		● カラー
	リアライセンスガーニッシュ		● ダーククロームメッキ		● クロームメッキ		● クロームメッキ		● クロームメッキ		● クロームメッキ
	LEDドアミラーウインカー		● スモークタイプ		●		●		●		●
	リアコンビネーションランプ (LEDストップランプ&LEDテールランプ)		● スモークタイプ		● スモークタイプ		●		●		●
ハーフシェイド・フロントウインドウ		●		●		●		●			
【全タイプ標準装備】●高熱線吸収/UVカット機能付プライバシーガラス(リアドア/リアクォーター/テールゲート) ●電動格納式リモコンカラードドアミラー ●車速連動間欠/バリアブル間欠フロントワイパー(ミスト機構付) ●ウォッシャー付間欠リアワイパー(リパース連動) ●熱線式リアウインドウデフォッガー											
足まわり/走行関連メンテナンス	16インチスチールホイール+スチールラジアルタイヤ								●		●
	16インチアルミホイール+スチールラジアルタイヤ						● SPADA専用デザイン		● SPADA専用デザイン		
	17インチアルミホイール+スチールラジアルタイヤ		●								
	SPADA専用サスペンション パドルシフト		●		●						
【全タイプ標準装備】●応急パンク修理キット(スペアタイヤレス)											

※1「1列目シートi-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム」を装着した場合、「グラブレール(運転席/3列目左右)」が装備されます。※2「Honda SENSING」を装着した場合、「クルーズコントロール」の機能は「ACC」に統合されます。※3「Honda SENSING」を装着した場合、「マルチインフォメーション・ディスプレイ」が装備され、「インフォメーションディスプレイ」の機能は「マルチインフォメーション・ディスプレイ」に統合されます。※4「Honda インターナビ」または「ナビ装着用スペシャルパッケージ」を装着した場合、スピーカー数は「6」となります。※5「マルチビューカメラシステム」を装着した場合、「サイドビューサポートミラー」は装備されません。※6「パワースライドドア(リア左側)」を装着した場合、「スライドドア・イージークローザー(リア両側)」が装備されます。※7「パワースライドドア(リア左側)」を装着した場合、「カーテシランプ(スライドドア)」が装備されます。※8「Hondaスマートキーシステム」装着車の場合、「電波式キーレスエントリーシステム」の機能は「Hondaスマートキーシステム」に統合されます。 ※9 2列目シート(中央席)には「3点式ELRシートベルト」が装備されます。また、シートに「コンビニフック」は装備されません。

■メーカーオプションは組み合わせによっては同時装着できない場合がございます。また、他のメーカーオプションとセット装着になる場合がございます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■メーカーオプションは、メーカーの工場では装着するため、ご注文後はお受けできませんのでご了承ください。■仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。■このカタログの写真は印刷のため、実際の色と多少異なることがあります。■Honda インターナビ装着車には専用通信機器が装着されます。■タイプ、カラー、オプション等により納期が異なります。■詳しくは販売会社にお問い合わせください。

主要諸元

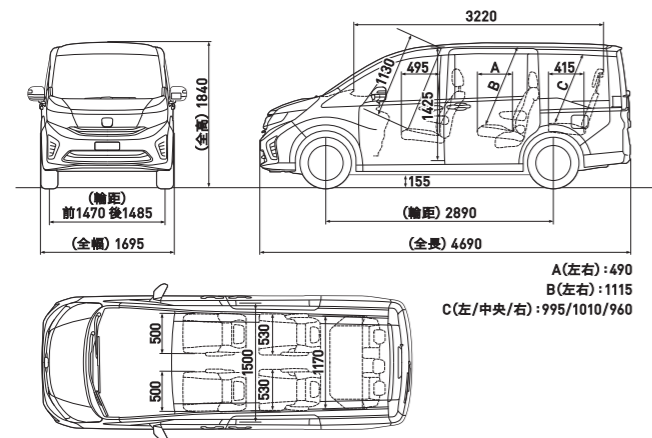
	タイプ		SPADA・Cool Spirit		SPADA		G・EX		G		B	
	駆動方式		FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD
車名・型式	ホンダ・DBA-RP3	ホンダ・DBA-RP4	ホンダ・DBA-RP3	ホンダ・DBA-RP4	ホンダ・DBA-RP1	ホンダ・DBA-RP2	ホンダ・DBA-RP1	ホンダ・DBA-RP2	ホンダ・DBA-RP1	ホンダ・DBA-RP2	ホンダ・DBA-RP1	ホンダ・DBA-RP2
トランスミッション	無段変速オートマチック (トルクコンバーター付※)		無段変速オートマチック (トルクコンバーター付)									
寸法・重量 乗車定員	全長 (m)	4.735				4.690						
	全幅 (m)	1.695										
	全高 (m)	1.840	1.855	1.840	1.855	1.840	1.855	1.840	1.855	1.840	1.855	
	ホイールベース (m)	2.890										
	トレッド (m) 前/後	1.470 / 1.485										
	最低地上高 (m)	0.155	0.150	0.155	0.150	0.155	0.150	0.155	0.150	0.155	0.150	0.155
	車両重量 (kg)	1,700	1,770	1,690	1,770	1,670	1,740	1,650	1,740	1,630	1,720	
	最大車両重量 (kg) *	1,730	1,790	1,710	1,790	1,700	1,780	1,690	1,780	1,650	1,740	
	乗車定員 (名)	7 [8] ¹										
	客室内寸法 (m)	長さ / 幅 / 高さ		3.220 / 1.500 / 1.425								
エンジン	エンジン型式	L15B										
	エンジン種類・シリンダー数及び配置	水冷直列4気筒横置										
	弁機構	DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2										
	総排気量 (L)	1.496										
	内径×行程 (mm)	73.0×89.4										
	圧縮比	10.6										
	燃料供給装置形式	電子制御燃料噴射式 (ホンダPGM-FI)										
	使用燃料種類	無鉛レギュラーガソリン										
	燃料タンク容量 (L)	52										
	性能	最高出力 (kW[PS]/rpm)	110 [150] / 5,500									
最大トルク (N・m[kgf・m]/rpm)		203 [20.7] / 1,600—5,000										
JC08モード 走行燃料消費率 (国土交通省審査値) (km/L)		15.4	15.0	16.0	15.0	16.2	15.4 [15.0] ²	17.0 [16.2] ³	15.4 [15.0] ²	17.0	15.4	
主要燃費向上対策		直噴エンジン、アイドリングストップ装置、自動無段変速機 (CVT)、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング										
最小回転半径 (m)		5.7	5.4									
動力伝達・走行装置	変速比	前進		2.645~0.405 (マニュアルモード付)		2.645~0.405						
		後退		1.858~1.264								
	減速比	5.047	前5.047 後2.533	5.047	前5.047 後2.533	5.047	前5.047 後2.533	5.047	前5.047 後2.533	5.047	前5.047 後2.533	
	ステアリング装置形式	ラック・ピニオン式 (電動パワーステアリング仕様)										
	タイヤ (前・後)	205/55R17 91V	205/60R16 92H									
	主ブレーキの種類・形式 (前/後)	油圧式ベンチレーテッドディスク / 油圧式ディスク (ドラム駐車ブレーキ内蔵)										
サスペンション方式 (前/後)	FF車: マクファーソン式 / 車軸式 4WD車: マクファーソン式 / ド・ディオン式											
スタビライザー形式 (前/後)	FF車: トーションバー式 / ー 4WD車: トーションバー式 / トーションバー式											

※パドルシフトとなります。 [] ¹内はメーカーオプションの「2列目6:4分割ベンチシート」装着車。 [] ²内はメーカーオプションの「2列目6:4分割ベンチシート」および「1列目シートi-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム」および「Honda SENSING」装着車。 [] ³内はメーカーオプションの「2列目6:4分割ベンチシート」装着車、「Honda インターナビ」装着車、「1列目シートi-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム」および「Honda SENSING」装着車。 *メーカーオプションを組み合わせて装着した場合の最大車両重量です。各組み合わせ装着の車両重量は販売会社にお問い合わせください。 ■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。 ■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。 ■STEP WGN、STEP WGN SPADA、アレルフリー、エコアシスト、G-COM、Honda SENSING、INTER NAVI SYSTEM、LKAS、PGM-FI、VSA、VTECは本田技研工業株式会社の商標です。 ■Bluetooth®は米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。 ■HDMI®、HDMI®ロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。 ■iPhone®、Siri®は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。 ■VICISは(財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。 ■プラズマクラスターマークおよびプラズマクラスター、Plasmaclusterは、シャープ株式会社の商標です。 ■製造事業者: 本田技研工業株式会社

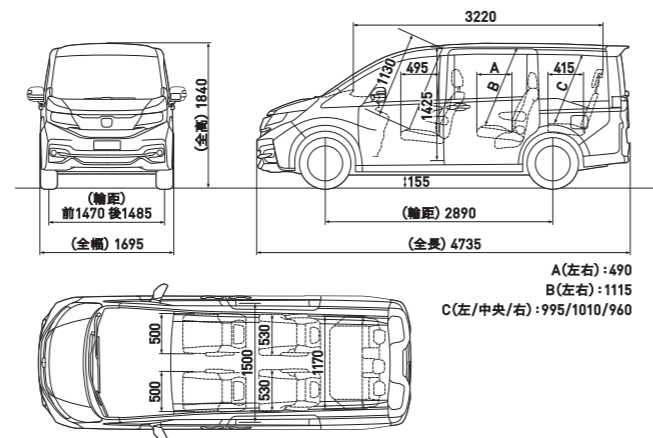
寸法イメージ図

単位: mm

G (FF) メーカーオプション非装着車



SPADA (FF) メーカーオプション非装着車



環境仕様

基礎情報	車両型式		DBA-RP1		DBA-RP2		DBA-RP3		DBA-RP4		適合騒音規制レベル			
	型式		L15B											
環境性能情報	総排気量 (L)		1.496											
	駆動方式		FF		4WD		FF		4WD		エアコン冷媒の種類および使用量			
	変速機		CVT											
環境性能情報	燃料消費率		JC08モード 燃費 (km/L) *1		17.0	16.2	15.4	15.0	16.0	15.4	15.0	平成11年騒音規制 規制値: 加速走行76dB(A)		
	CO ₂ 排出量 (g/km) (燃費からの換算値)		136.6	143.3	150.8	154.8	145.1	150.8	154.8	種類: 代替フロン134a 使用量: 820g				
	排出ガス		平成32年度燃費基準達成車											
	適合規制・認定レベル		平成17年排出ガス基準75%低減											
	JC08H+ JC08Cモード 認定基準値 (単位: g/km)		CO		1.15									
			NMHC		0.013									
		NOx		0.013										
参考		九都県市指定低公害車の基準に適合												
環境性能情報	車室内VOC		自工会目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)											
	環境負荷 物質削減		鉛		自工会2006年目標達成 (1996年使用量*2の1/10)									
			水銀		自工会目標達成 (2005年1月以降使用禁止*3)									
			六価クロム		自工会目標達成 (2008年1月以降使用禁止)									
			カドミウム		自工会目標達成 (2007年1月以降使用禁止)									
環境性能情報	リサイクル		樹脂、ゴム部品への材料表示		樹脂、ゴム部品に可能な限り全て									
			リサイクルし易い材料*4を使用した部品		ウインドウモール類、 バンパーフェースなどの内外装部品									
			再生材を使用している部品		エアコンダクト、バッテリーボックス、吸音材									
			リサイクル可能率		車全体で90%以上*5									
その他		グリーン購入法適合状況		グリーン購入法適合車										

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。*2 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g (バッテリーを除く)。*3 交通安全上必要な部品の極微量使用を除外。*4 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。*5 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン (1998年 自工会)」に基づき算出。※この環境仕様書は2015年4月現在のものです。